

# 2023年度中間決算説明資料

2023年11月17日

SOMPOホールディングス株式会社



# 目次

ビッグモーター社による不正事案への対応	4
次期中計のコンセプト	5
2023年度中間期業績と通期予想の概要	6
業績トピックス	7
<b>業績概況</b>	
連結の業績変動要因	9
国内損保事業（損保ジャパン）の業績変動要因	10
海外保険事業の業績変動要因	11
国内生保事業（ひまわり生命）の業績変動要因	12
介護・シニア事業の業績変動要因	13
（参考）2023年度通期業績予想修正のブレイクダウン	14
（参考）決算数値	15
<b>事業別詳細</b>	
<b>国内損保事業（損保ジャパン）</b>	
保険引受利益	17
正味収入保険料	18
コンバインド・レシオ	19
損害率	20
事業費率	21
資産運用損益	22
（参考）自動車保険関連の指標	23
（参考）火災保険、新種保険関連の指標	24
（参考）国内自然災害	25
（参考）資産ポートフォリオ	26
（参考）決算数値	27

<b>海外保険事業</b>	
保険引受利益	29
収入保険料	30
コンバインド・レシオ	31
SIコンシューマー業績概況	32
資産ポートフォリオ・資産運用損益	33
（参考）海外自然災害	34
（参考）決算数値	35

<b>国内生保事業</b>	
新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料	37
事業費	38
資産ポートフォリオ・資産運用損益	39
（参考）決算数値	40
（参考）修正純資産のコンバージョン	41

<b>介護・シニア事業</b>	
売上高・営業利益率・修正利益	43
（参考）入居率・事業所数	44

<b>ERM</b>	
ESR（99.5%VaR）	46
（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	47
（参考）資産運用ポートフォリオ（グループ連結ベース運用資産）	48
（参考）経営数値等	49

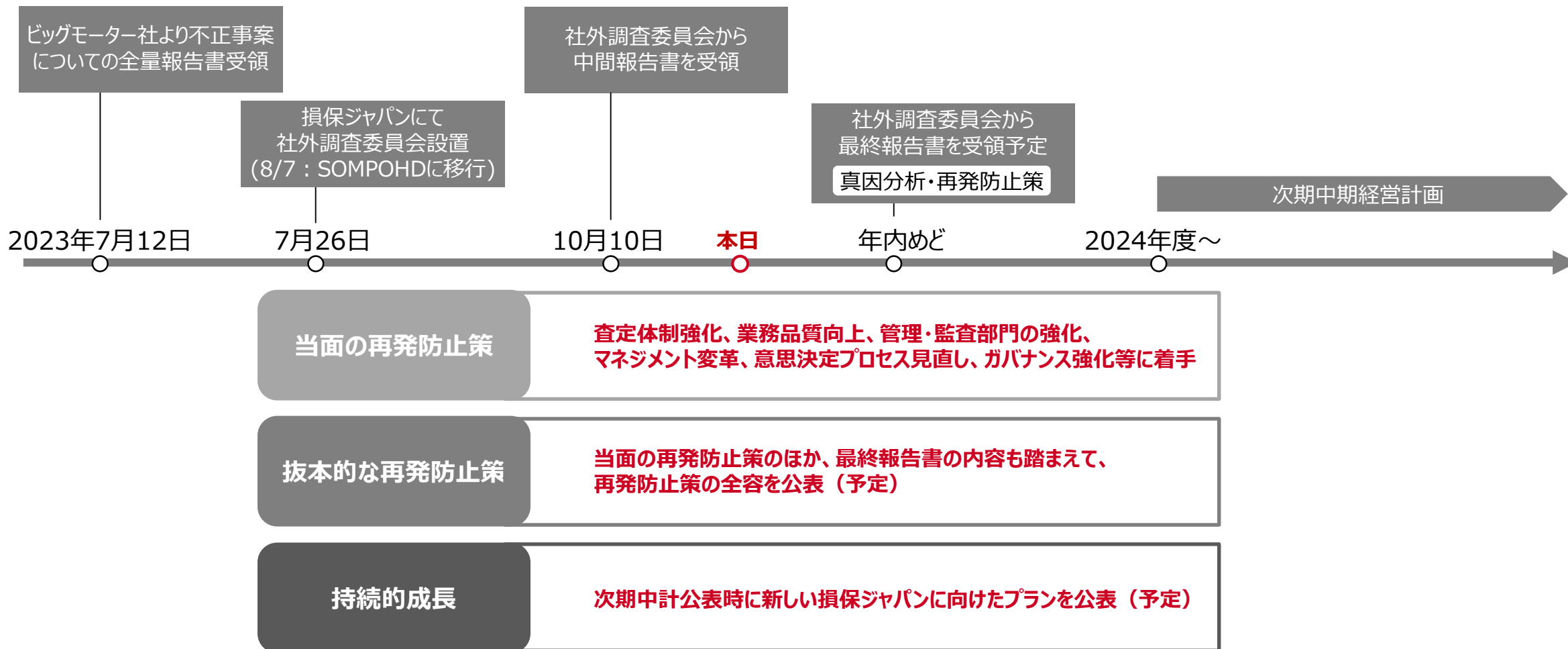
為替レート（米ドル/円）		
2023年度 中間期	149.58円（対前年：+3.3%）	2023年9月末
	- 海外※ 144.99円（対前年：+8.5%）	2023年6月末
2023年度 通期業績予想	今回予想 149.58円（対期初予想：+12.0%）	2023年9月末
	（参考）期初予想 133.53円	2023年3月末

※ 海外保険事業

# ビッグモーター社による不正事案への対応

- ビッグモーター社による不正事案に関する社外調査委員会の最終報告書（年内めどに受領予定）の内容も踏まえて抜本的に対応
- その上で、損保ジャパンの持続的成長に資する変革をSOMPOグループ一体となって検討・実行

## 対応経緯と今後の予定



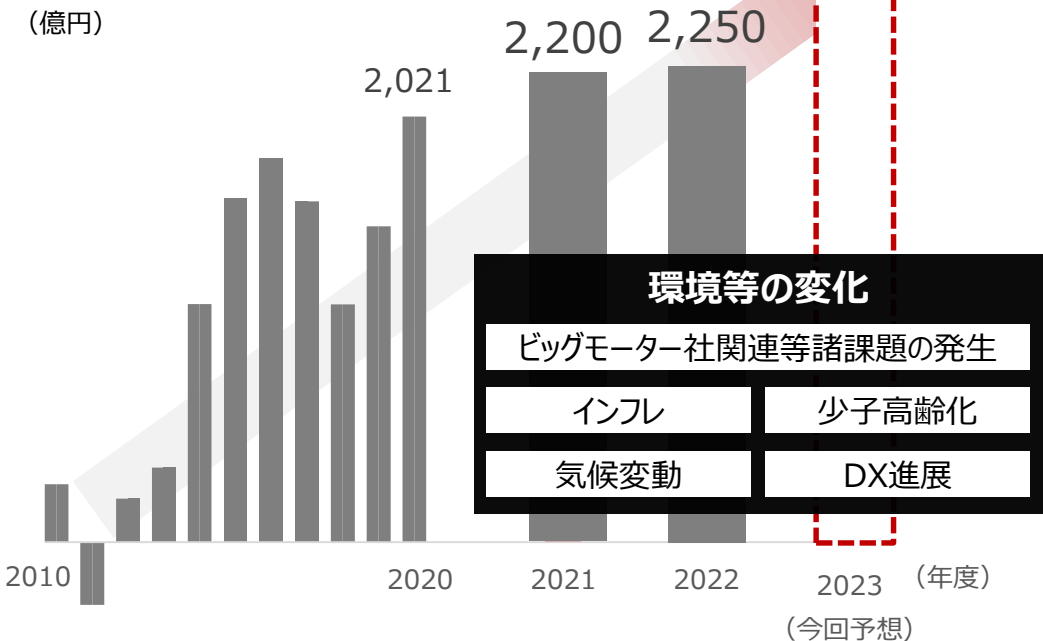
# 次期中計のコンセプト

- 次期中計は「レジリエンス」、「コネクション」をキーワードとし、3つの柱を軸にお客さまのニーズに応え続けられるユニークな事業展開を追求
- ROEおよび利益安定性を一段階向上させるほか、ウェルビーイングへのチャレンジにより持続的成長を果たす

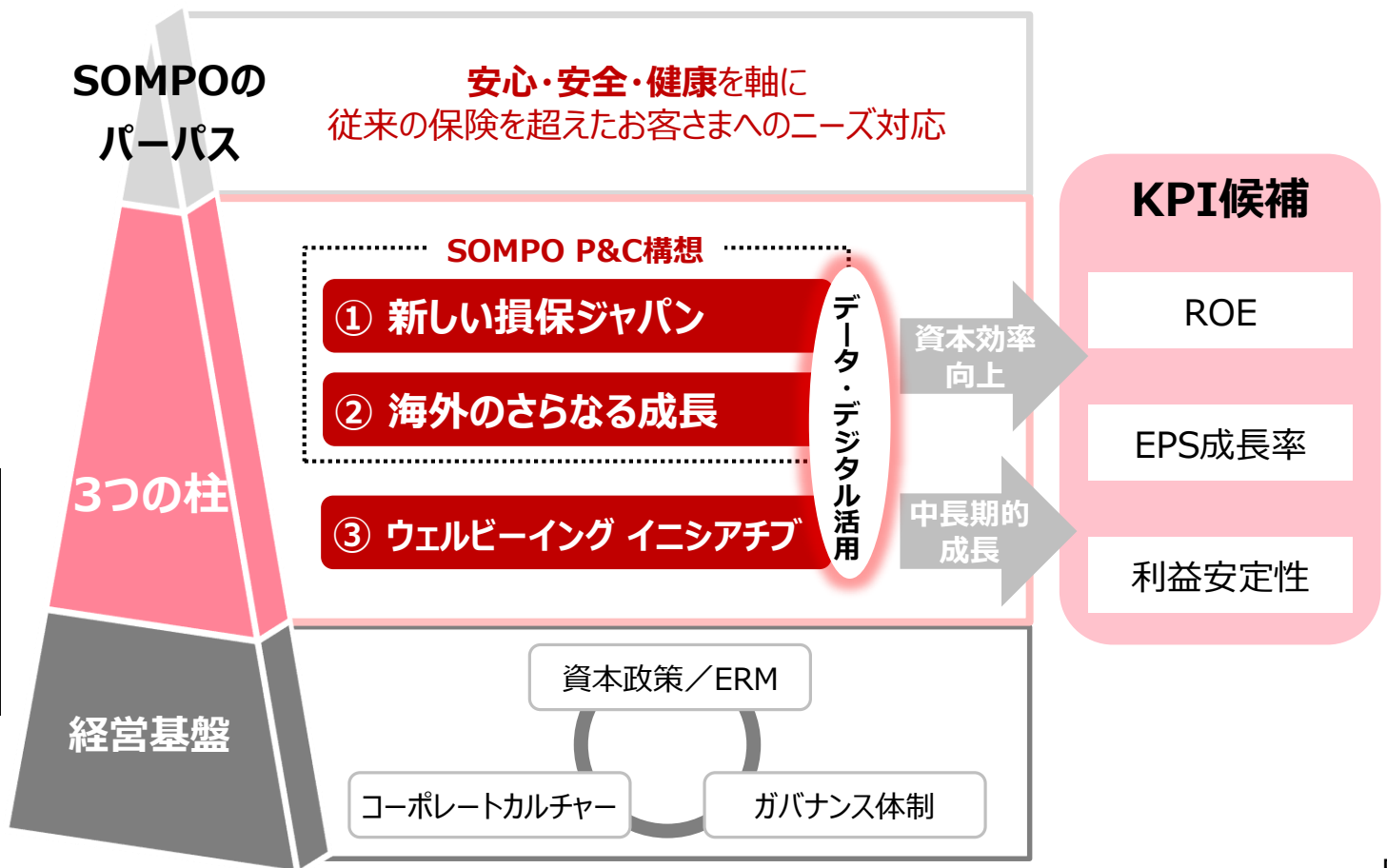


## <修正連結利益※>

2023年度の修正連結利益は、  
海外保険事業の成長もあり、過去最高益を見込む



環境等の変化	
ビッグモーター社関連等諸課題の発生	
インフレ	少子高齢化
気候変動	DX進展

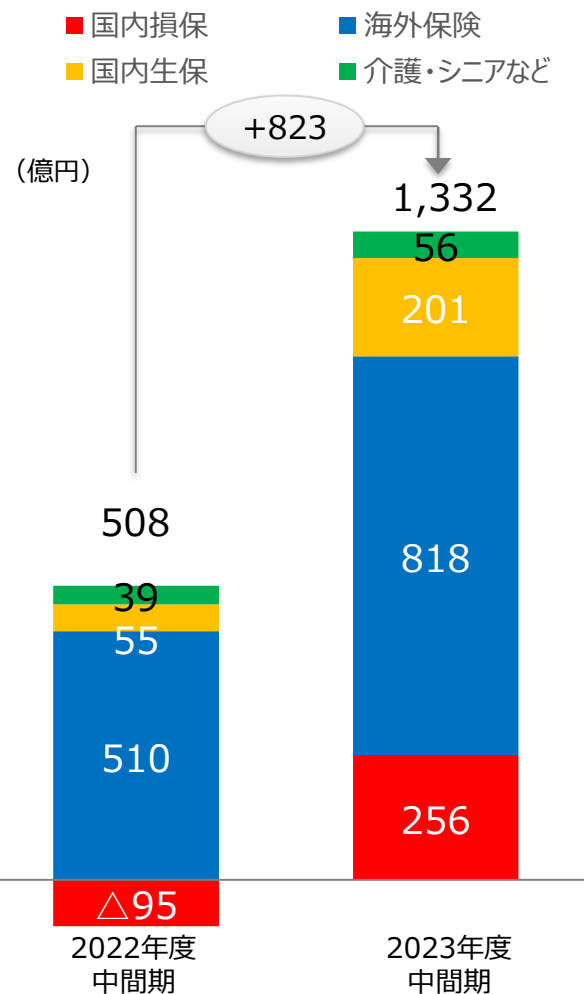


※自然災害やコロナなどの一過性要因を除いた平年値ベース

# 2023年度中間期業績と通期予想の概要

- 中間期の修正連結利益は、海外保険の資産運用利益の増加、コロナ影響の剥落を主因に、+823億円増益の1,332億円
- 2023年度下期は国内損保や海外保険の利益積み上げが見込まれ、通期の修正連結利益予想は2,800億円で据え置き

## 中間期の修正連結利益

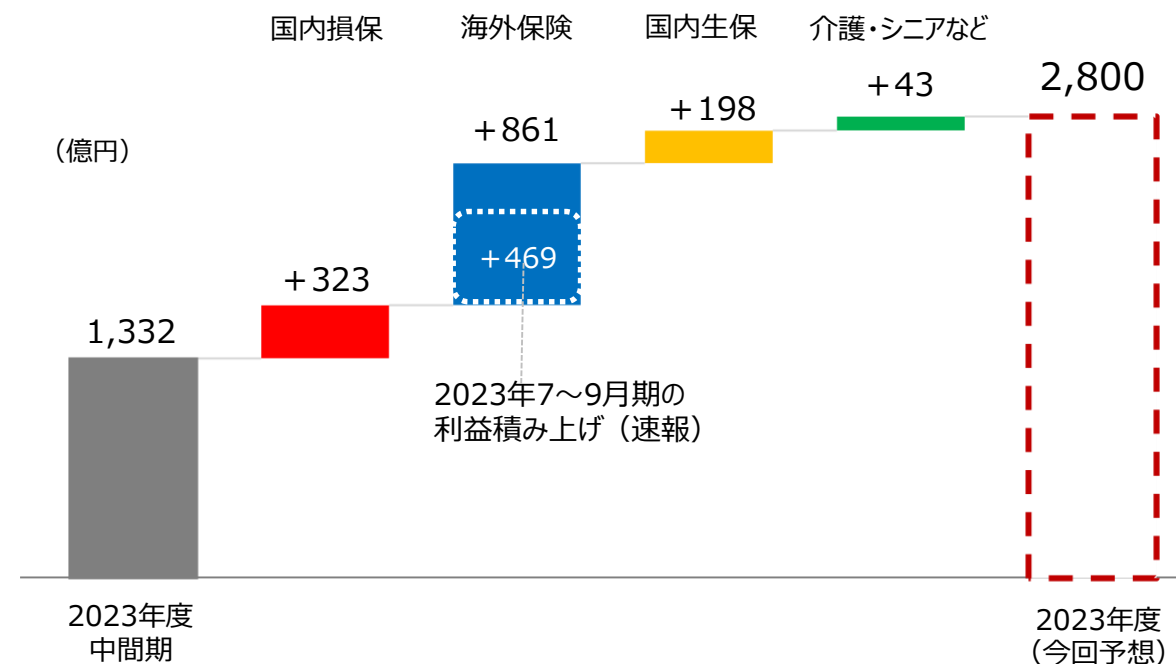


<主な変動要因 (税後、概算)>



※1 為替影響 (+18億円)  
※2 自然災害と大口事故、コロナの影響を除いたもの

## 2023年度下期業績の積み上げ要因 (修正連結利益)



- 国内損保**
  - 資産運用利益の積み上げ等 (+約190億円)
  - 保険引受利益積み上げ (+約130億円)
- 海外保険**
  - 簿価利回りの着実な向上による資産運用利益の積み上げ (+約600億円)
  - 既経過保険料増による保険引受利益の積み上げ (+約280億円)
- 国内生保**
  - 保有契約増 (+17万件)

## 自動車保険（損保ジャパン）

事故率が計画を上回って推移、修理費単価上昇率は想定通り

＜自動車保険事故率※1＞  
(対前年増加率)

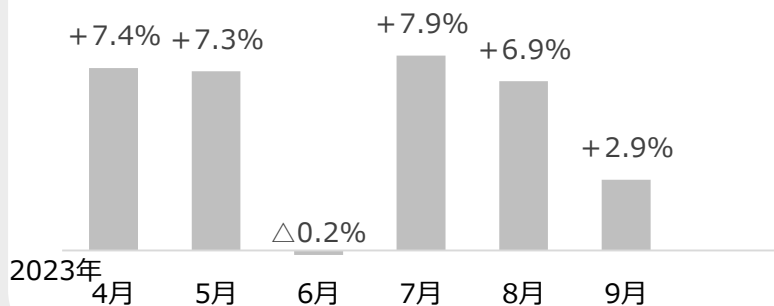
2023年度通期

期初予想△0.3%

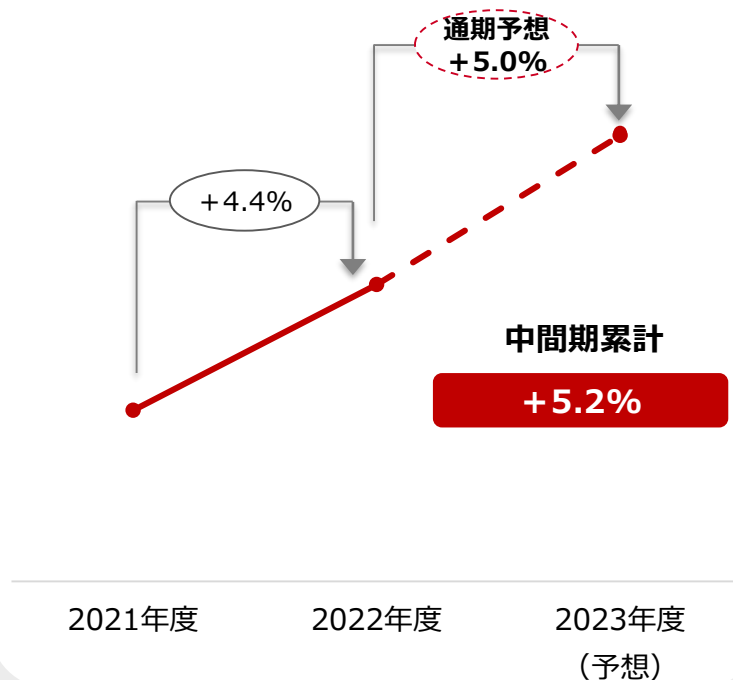
今回予想+2.5%

中間期累計+4.0%

＜自動車保険事故受付件数（自然災害除く）＞  
(対前年増加率)



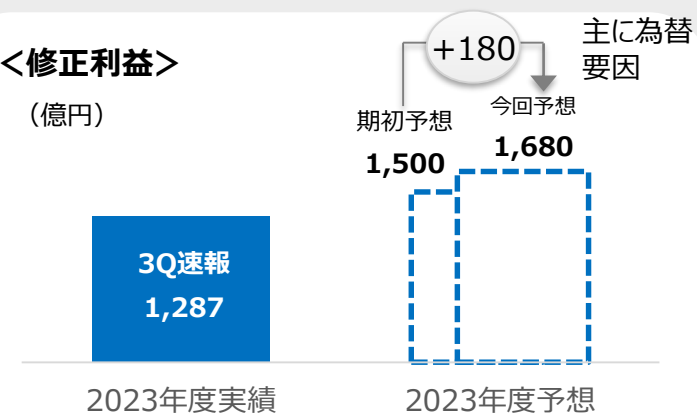
＜修理費単価＞  
(対前年増加率)



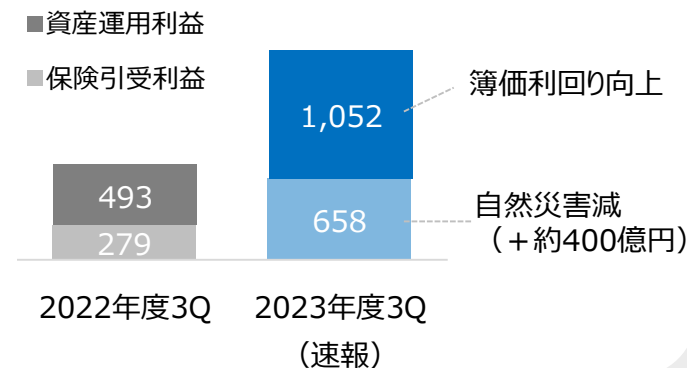
## 海外保険事業※3

第3四半期は順調に進捗

＜修正利益＞  
(億円)



＜利益の内訳（税前）＞  
(億円)

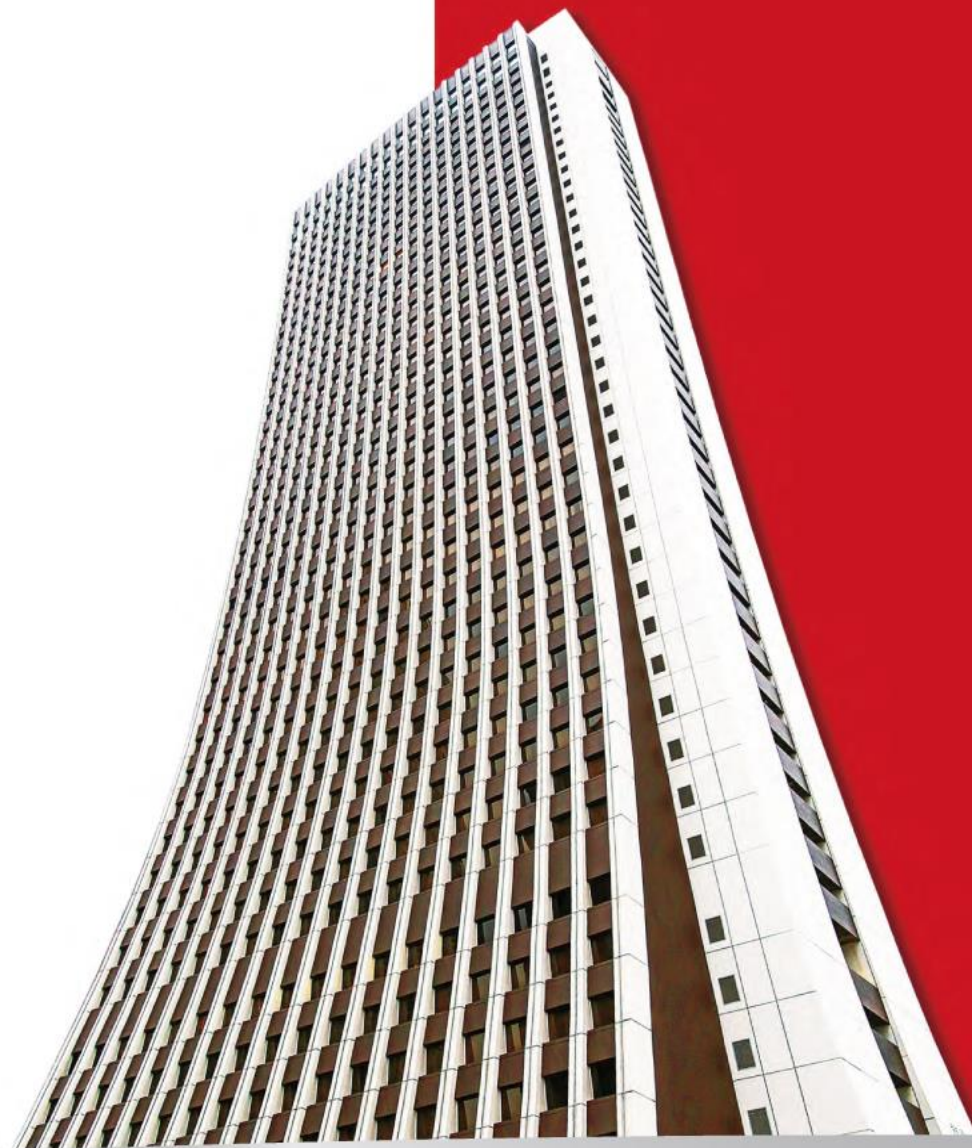


※1 事故率は、事故発生件数の責任経過契約件数に対する割合。なお、事故発生件数は事故受付件数から保険金支払に該当しない事故件数等を除いたもの

※2 為替レートは2023年度通期（期初予想）：133.53円、2023年度第3四半期、通期：149.58円、

海外保険事業の2023年度第3四半期の速報は未監査であり、数値が変更となる可能性あり、確定実績は2024年2月のSOMPOホールディングスの第3四半期決算発表時に公表

# 業績概況



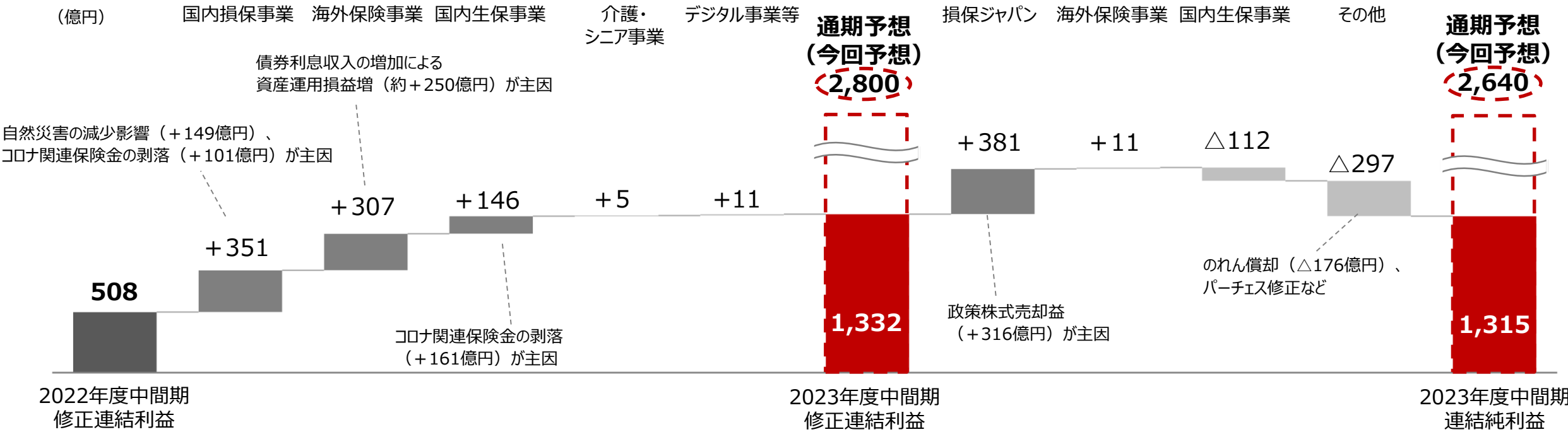


# 連結の業績変動要因

- 2023年度中間期の修正連結利益は、国内損保の発生保険金減少、海外保険の運用益増を主因に+ 823億円増益の1,332億円
- 2023年度通期の修正連結利益は、海外保険の増益などを主因に過去最高益となる2,800億円の期初予想を据え置く

## 修正連結利益の増減要因（税後）

## 連結純利益へのコンバージョン※1



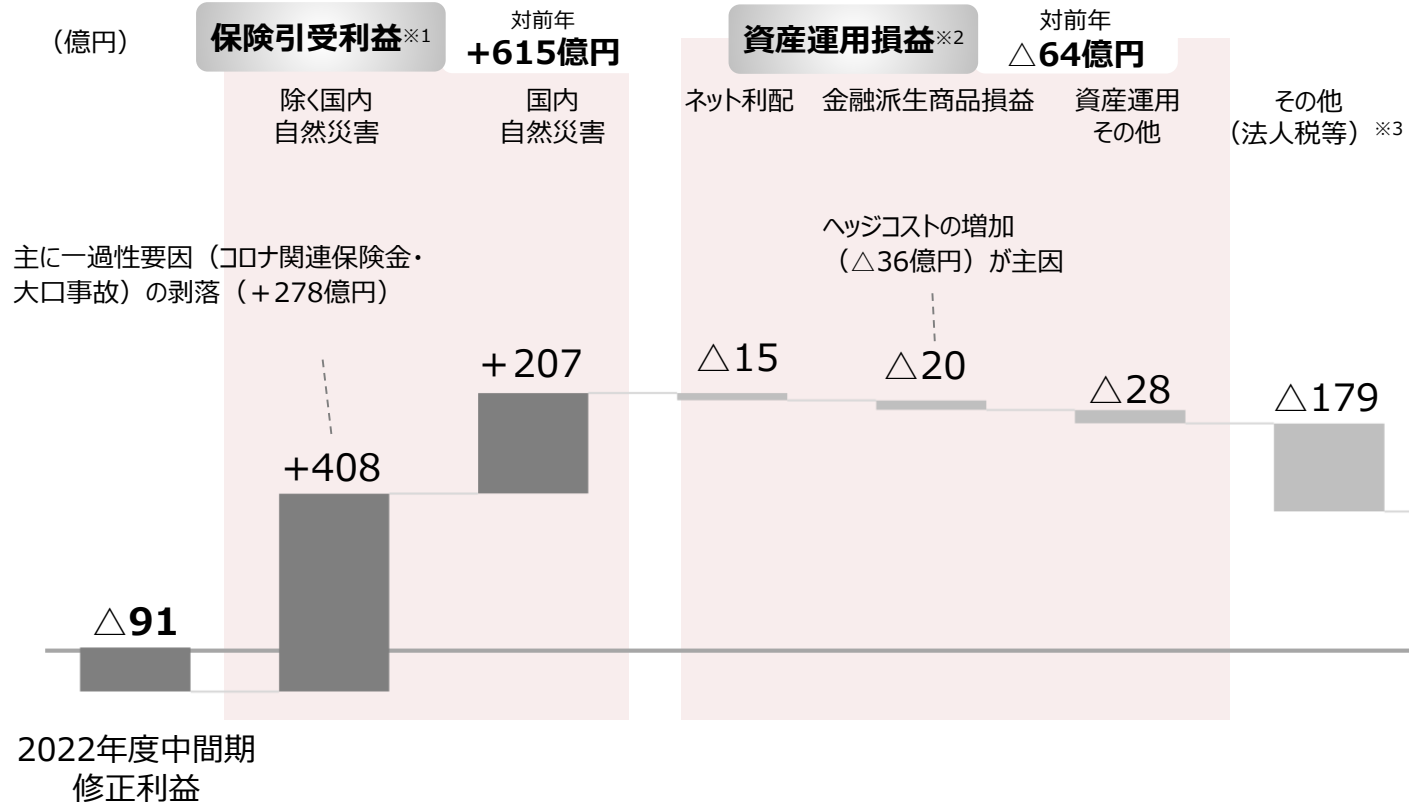
	国内損保事業	海外保険事業	国内生保事業	介護・シニア事業	デジタル事業等	修正連結利益	連結純利益
2022年度中間期	△95億円	510億円	55億円	28億円	10億円	508億円	△771億円※2
<b>2023年度中間期</b>	<b>256億円</b>	<b>818億円</b>	<b>201億円</b>	<b>33億円</b>	<b>22億円</b>	<b>1,332億円</b>	<b>1,315億円</b>
<b>2023年度通期（今回予想）</b>	<b>580億円</b>	<b>1,680億円</b>	<b>400億円</b>	<b>70億円</b>	<b>30億円</b>	<b>2,800億円</b>	<b>2,640億円</b>

※1 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）、  
 SI現地会計においてIFRS9およびIFRS17を適用する影響で、海外の有価証券未実現損および保険負債の時価変動を連結純利益にて認識、修正連結利益には影響なし  
 ※2 上記会計基準の遡及適用影響△571億円（責任準備金+25億円、支払備金+473億円、有価証券に係る時価変動△1,070億円）を含む

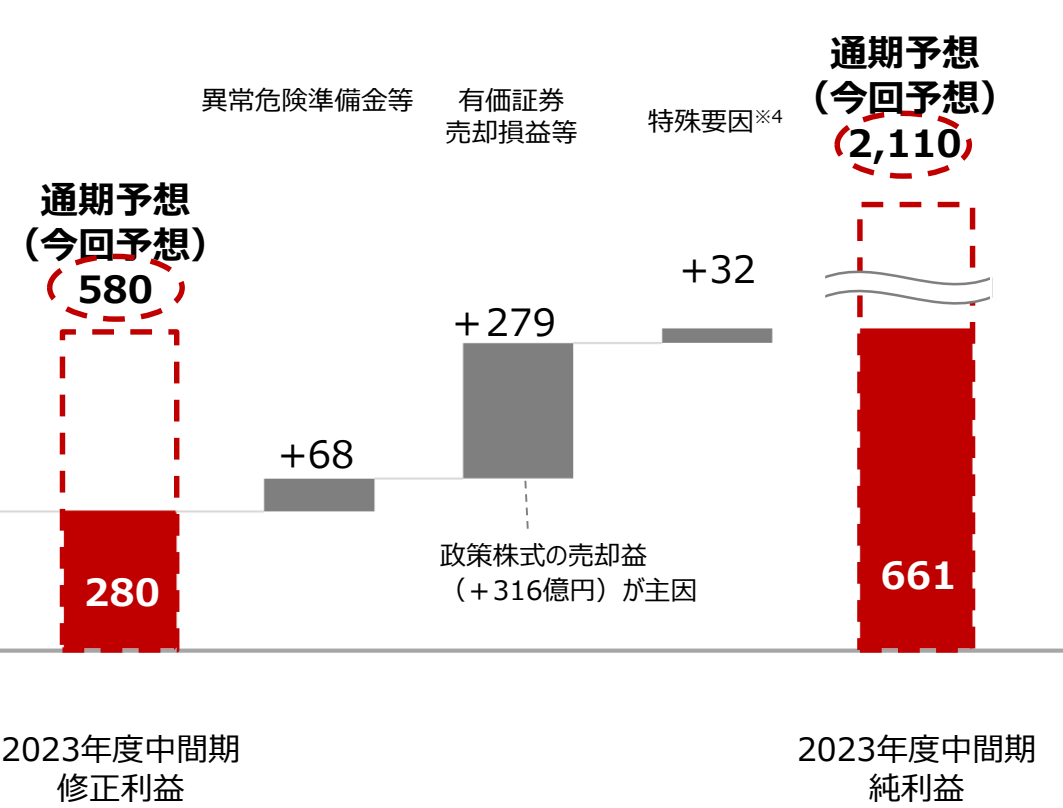
# 国内損保事業（損保ジャパン）の業績変動要因

- 自然災害やコロナ影響、大口事故などの一過性要因が剥落し、2023年度中間期の修正利益は対前年 + 371億円の280億円
- 一方、自動車保険の収支悪化を主因に、2023年度通期の修正利益は580億円に修正

## 修正利益の増減要因



## 純利益へのコンバージョン



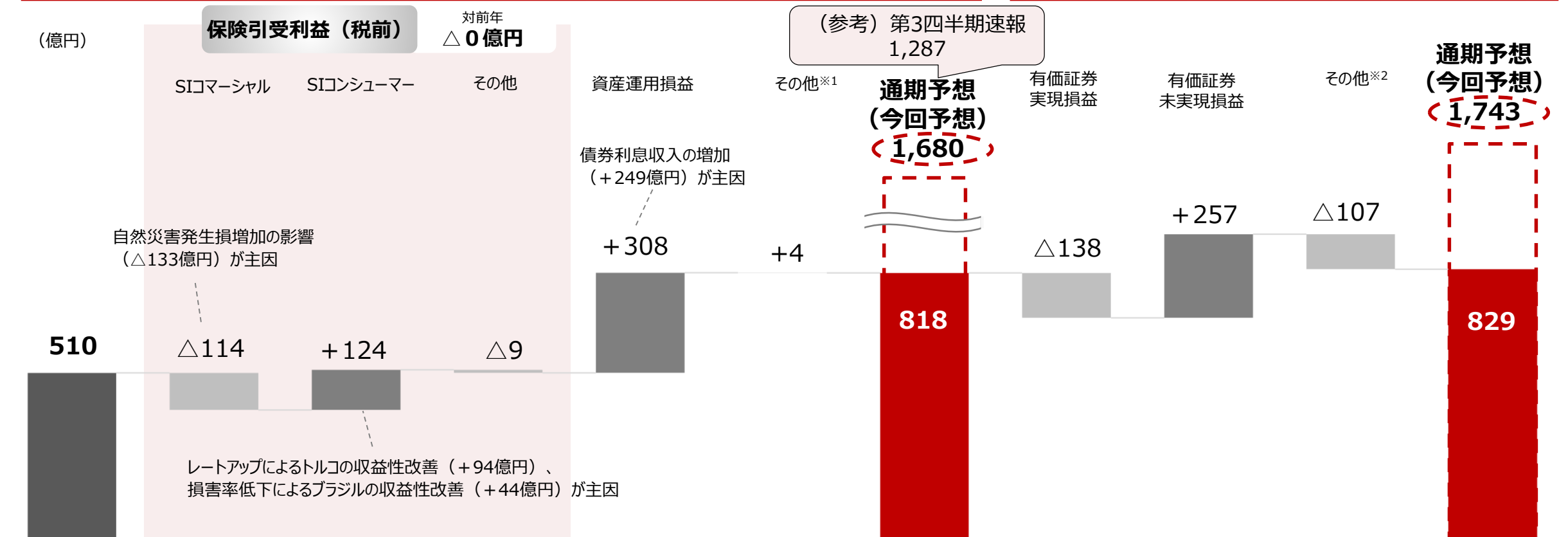
※1 保険引受利益から異常危険準備金・危険準備金・自然災害責任準備金に係る影響を控除  
 ※2 資産運用損益から有価証券売却損益等に係る影響を控除  
 ※3 事業費・その他経常収支・その他特別損益・法人税等  
 ※4 子会社配当・自然災害責任準備金影響・株式先物損益等

# 海外保険事業の業績変動要因

- 債券利息収入の増加を主因とする資産運用損益がけん引し、2023年度中間期の修正利益は+307億円増益の818億円
- 2023年度第3四半期の修正利益速報は1,287億円と順調な進捗、通期の修正利益は期初予想比+180億円の1,680億円を見込む

## 修正利益の増減要因

## 純利益へのコンバージョン



2022年度中間期  
修正利益

2023年度中間期  
修正利益

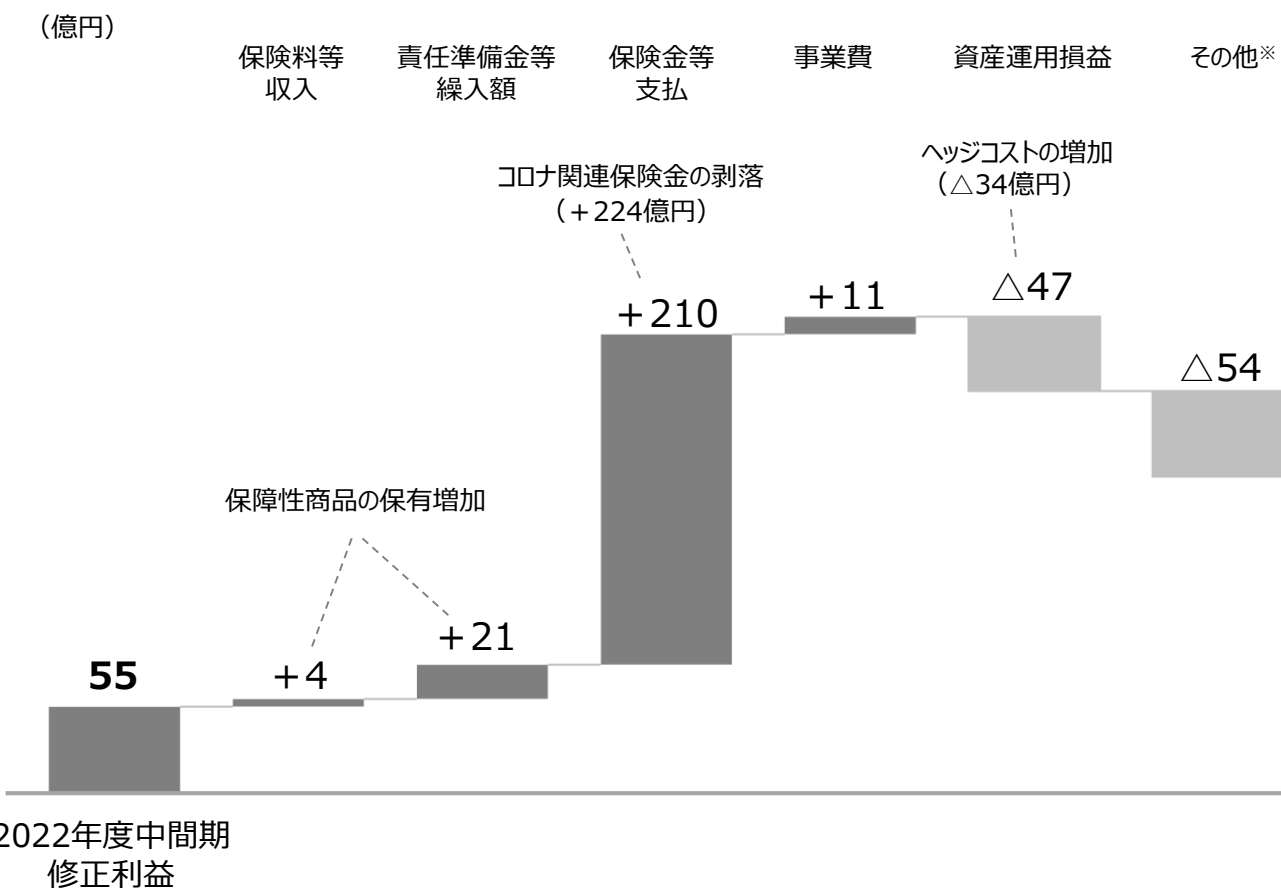
2023年度中間期  
純利益

※1 法人税等  
※2 IFRS17適用による保険負債の時価変動影響を含む

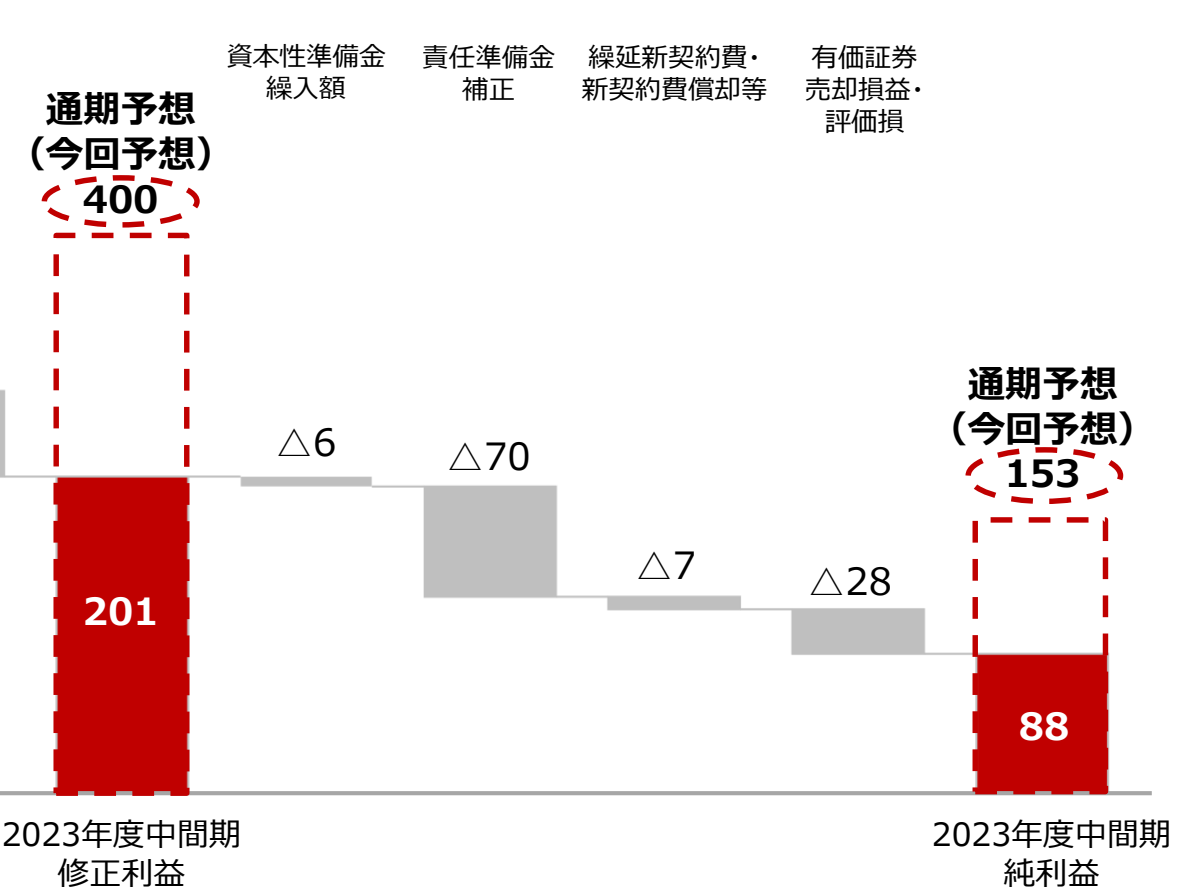
# 国内生保事業（ひまわり生命）の業績変動要因

- 2023年度中間期の修正利益は、前年度のコロナ影響剥落を主因に+146億円増益の201億円と順調
- 2023年度通期の修正利益は、+221億円増益の400億円を見込む（期初予想から変更なし）

## 修正利益の増減要因



## 純利益へのコンバージョン



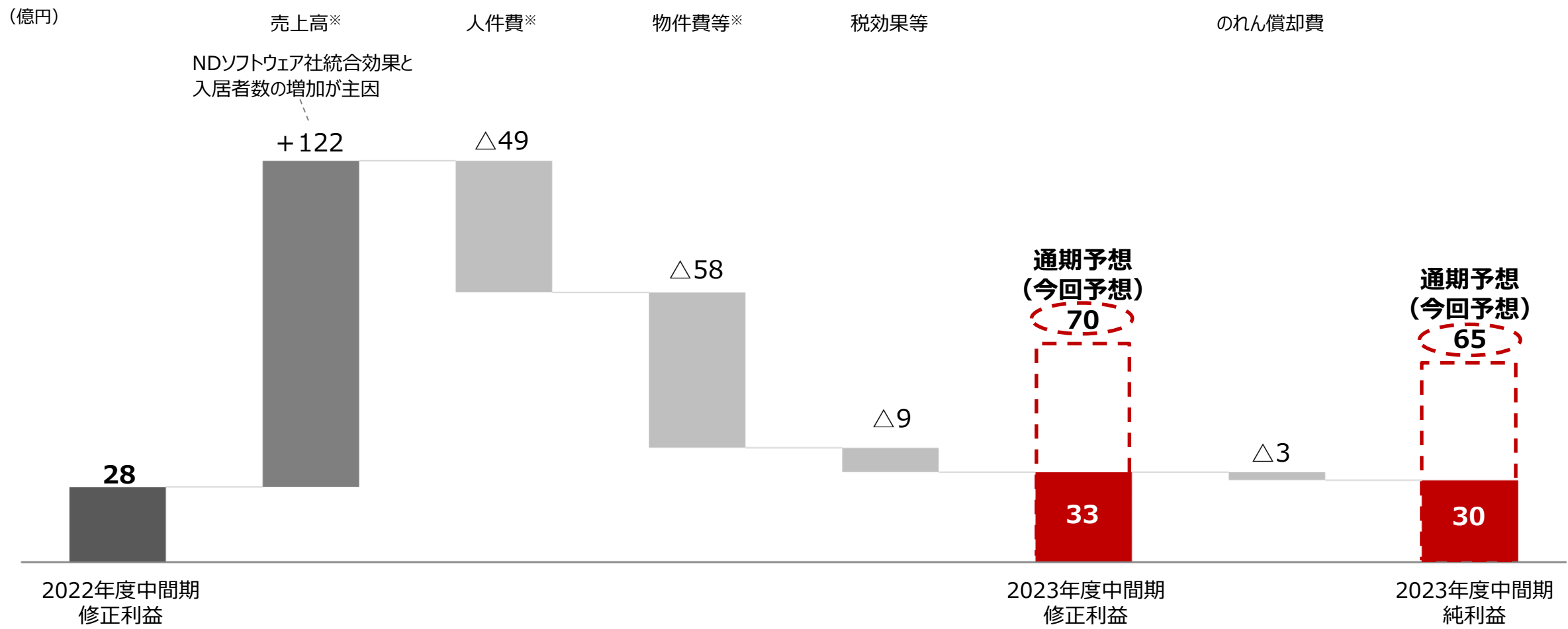
※ 法人税等

# 介護・シニア事業の業績変動要因

- 2023年度中間期の修正利益は、NDソフトウェア社統合効果等により、+5億円増益の33億円
- 計画に対し順調に推移しており、2023年度通期の修正利益の今回予想は70億円で据え置き

## 修正利益の増減要因

## 純利益へのコンバージョン



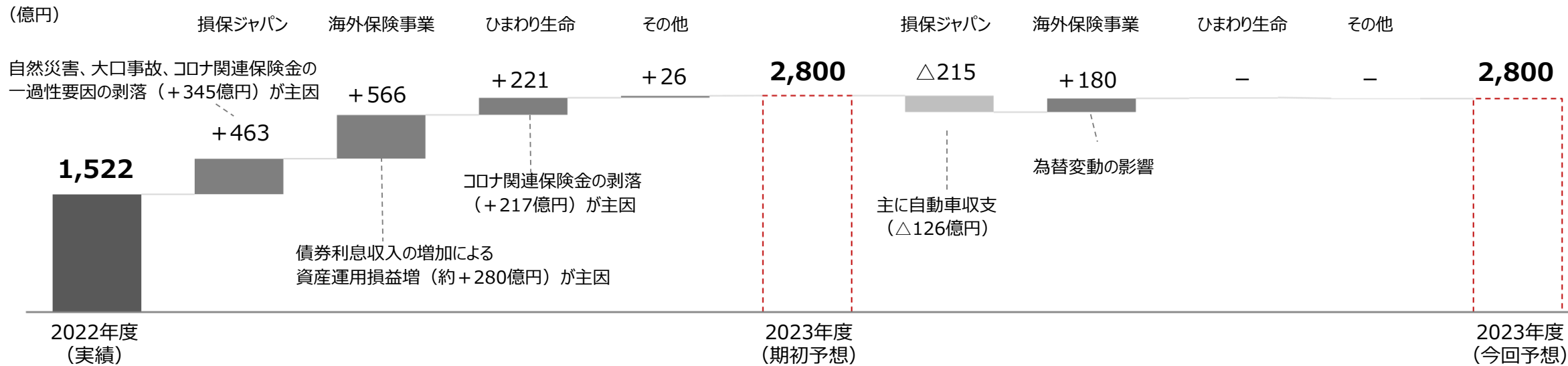
※NDソフトウェア社統合効果は、売上高+93億円、人件費影響△36億円、物件費影響△39億円

# (参考) 2023年度通期業績予想修正のブレイクダウン

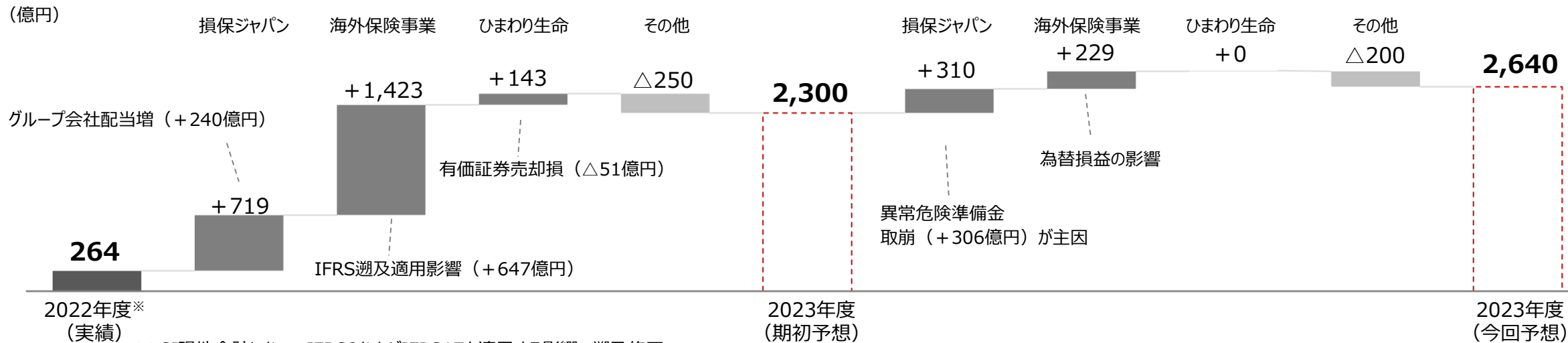
業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 修正連結利益の増減要因



## 連結純利益の増減要因



※ SI現地会計においてIFRS9およびIFRS17を適用する影響で遡及修正

# (参考) 決算数値

業績概況			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



	中間期業績			通期業績				
	2022年度 中間期※1	2023年度 中間期	増減	2022年度※1 (A)	2023年度			対前年増減 (C-A)
					期初予想 (B)	今回予想 (C)	増減 (C-B)	
連結経常収益	25,257	26,596	+1,338	45,258	-	-	-	-
正味収入保険料	21,032	20,889	△143	36,707	37,310	37,800	+490	+1,092
生命保険料	1,568	1,553	△14	3,167	3,340	3,370	+30	+202
連結経常利益	△880	1,810	+2,691	495	3,220	3,650	+430	+3,154
損保ジャパン	△500	910	+1,410	1,249	2,250	2,630	+380	+1,380
海外グループ会社	△117	1,034	+1,152	153	1,915	2,165	+250	+2,012
ひまわり生命	△46	129	+176	29	229	228	△0	+198
SOMPOケア	37	48	+11	79	99	98	△0	+19
その他・連結調整等※2	△253	△311	△58	△1,016	△1,274	△1,472	△198	△456
連結純利益	△771	1,315	+2,086	264	2,300	2,640	+340	+2,375
損保ジャパン	△343	661	+1,005	1,080	1,800	2,110	+310	+1,029
海外グループ会社	△183	829	+1,012	90	1,514	1,743	+229	+1,653
ひまわり生命	△37	88	+126	9	153	153	+0	+144
SOMPOケア	25	30	+4	54	63	65	+2	+10
その他・連結調整等※2	△232	△295	△63	△970	△1,230	△1,432	△202	△462
修正連結利益	508	1,332	+823	1,522	2,800	2,800	-	+1,277
国内損保事業	△95	256	+351	320	800	580	△220	+259
海外保険事業	510	818	+307	933	1,500	1,680	+180	+746
国内生保事業	55	201	+146	178	400	400	-	+221
介護・シニア事業	28	33	+5	59	70	70	-	+10
デジタル事業等	10	22	+11	30	20	30	+10	△0

※1 2023年度からSIにおいてIFRS新基準（IFRS9およびIFRS17）を適用したことによる遡及修正、修正利益は定義変更なし

(単位：億円)	2022年度中間期	2022年度通期
連結経常利益	△644	△730
連結純利益	△571	△647

※2 下記を含む

(単位：億円)	2022年度中間期	2023年度中間期
のれん償却	136	159
パーチェス修正（税前）	+22	+24
パーチェス修正（税後）	+16	+17

# 事業別詳細

タイトル	ページ
<b>国内損保事業（損保ジャパン）</b>	<b>16</b>
海外保険事業	28
国内生保事業	36
介護・シニア事業	42
ERM	45

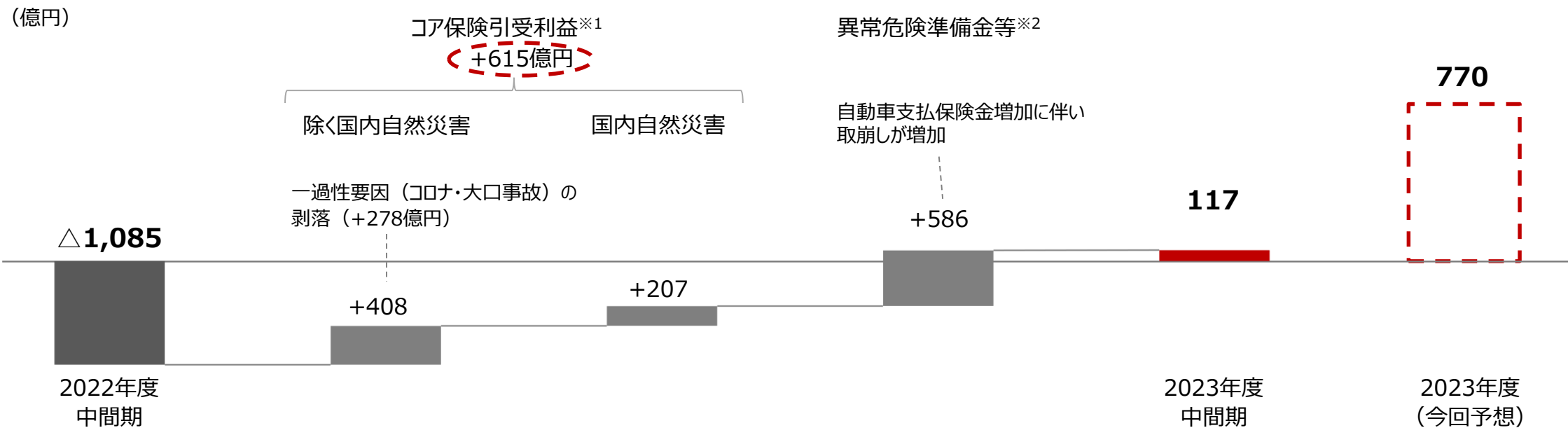




# 保険引受利益（損保ジャパン）

- 前年度の一過性要因の剥落を主因に、2023年度中間期のコア保険引受利益は対前年 + 615億円
- 2023年度通期のコア保険引受利益は、自動車の事故率増加影響を火災保険の既経過保険料増などがオフセットする見込み

## 保険引受利益の増減要因



	コア保険引受利益※1			異常危険準備金等※2	保険引受利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)			
2022年度中間期	△644億円	372億円	△1,016億円	△441億円	△1,085億円
<b>2023年度中間期</b>	<b>△28億円</b>	<b>781億円</b>	<b>△809億円</b>	<b>+145億円</b>	<b>117億円</b>
<b>2023年度 (今回予想)</b>	<b>154億円</b>	<b>1,194億円</b>	<b>△1,040億円</b>	<b>+615億円</b>	<b>770億円</b>

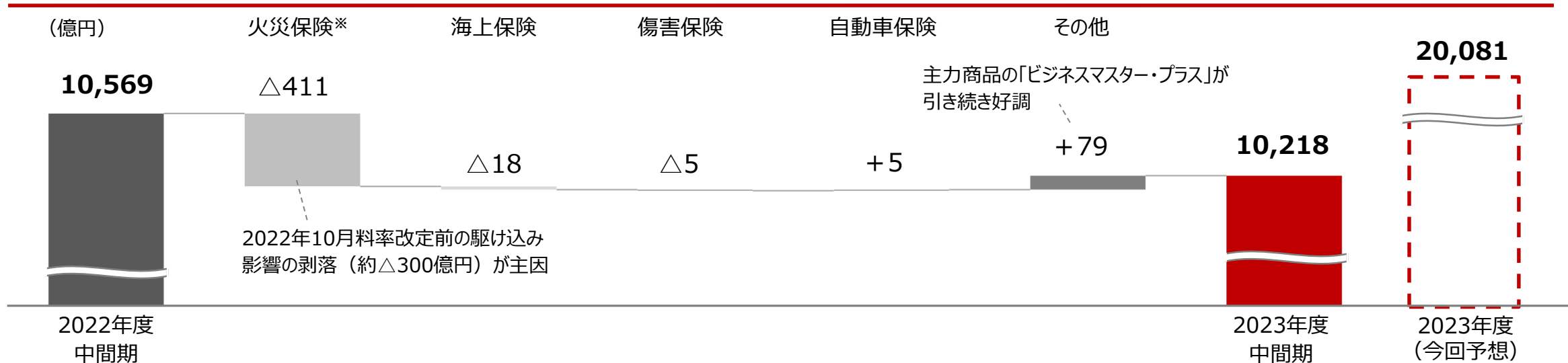
※1 保険引受利益から異常危険準備金、危険準備金、自然災害責任準備金に係る影響を除いたもの

※2 異常危険準備金、危険準備金、自然災害責任準備金

# 正味収入保険料（損保ジャパン）

- 2023年度中間期の正味収入保険料は、前年度の火災保険駆け込み影響を除くとほぼ横ばいの1兆218億円
- 中間期の実績を踏まえ、2023年度通期の正味収入保険料は2兆81億円を見込む

## 正味収入保険料（除く自賠責・家計地震）の増減要因



	火災*	海上	傷害	自動車	その他		合計 (除く自賠責・ 家計地震)	合計
					うち賠償責任			
2022年度 中間期	2,187億円	297億円	849億円	5,386億円	1,848億円	951億円	10,569億円	11,620億円
<b>2023年度 中間期</b>	<b>1,775億円</b>	<b>279億円</b>	<b>843億円</b>	<b>5,392億円</b>	<b>1,927億円</b>	<b>956億円</b>	<b>10,218億円</b>	<b>11,247億円</b>
<b>2023年度 (今回予想)</b>	<b>3,797億円</b>	<b>505億円</b>	<b>1,546億円</b>	<b>10,757億円</b>	<b>3,475億円</b>	<b>1,597億円</b>	<b>20,081億円</b>	<b>21,890億円</b>

### 参考

<営業成績保険料（10月累計、速報）>

**一般計**  
(除く自賠責、火災駆け込み影響) 対前年 **+0.9%**

<自動車ノンフリート継続率>

**10月速報** **91%**

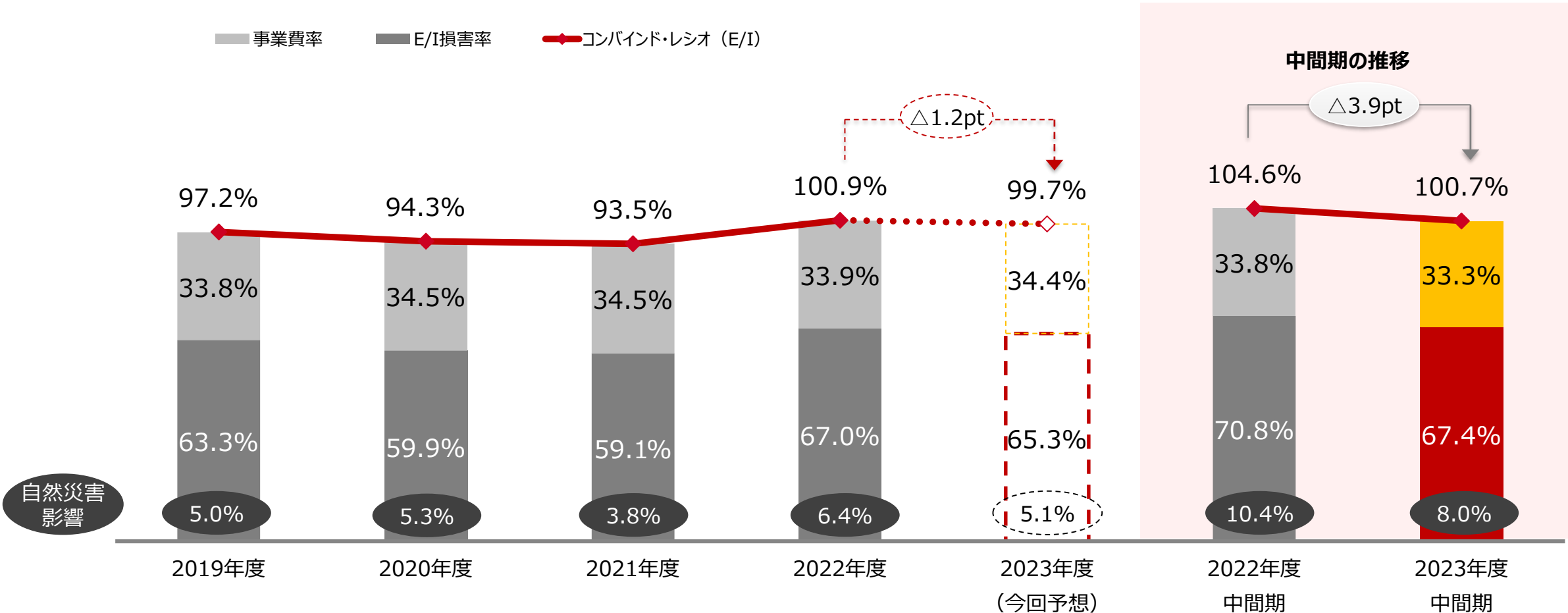
前年度の継続率レンジ内で推移

※ 除く家計地震

# コンバインド・レシオ (損保ジャパン)

- 自然災害影響の減少を主因に、2023年度中間期のコンバインド・レシオは3.9pt改善の100.7%
- 2023年度通期のコンバインド・レシオは、自然災害やコロナ影響などの一過性要因剥落により、1.2pt改善の99.7%を見込む

## コンバインド・レシオ (E/I) ※ (除く自賠責・家計地震)

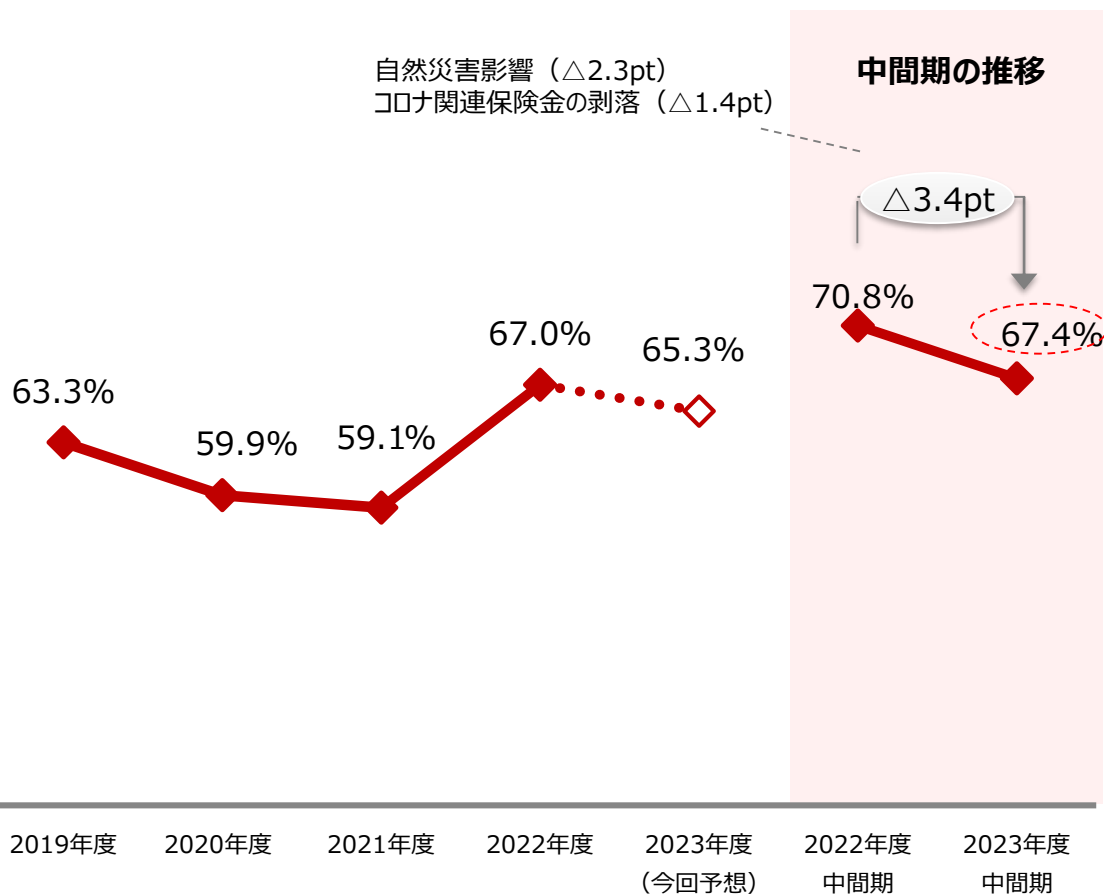


※ E/I損害率 + 正味事業費率 (以下同様)

# 損害率（損保ジャパン）

- 自然災害影響およびコロナ関連保険金の剥落を主因に、2023年度中間期の損害率は3.4pt改善
- 2023年度通期の損害率は、自動車保険の事故率悪化を火災保険の収支改善でオフセットし、65.3%を見込む

## E/I損害率（除く自賠責・家計地震）の推移



## 種目別E/I損害率

	2023年度中間期		2023年度
	実績	増減	(今回予想)
火災（除く家計地震）	75.4%	△35.1pt	68.3%
海上	73.0%	+31.8pt	71.3%
傷害	54.7%	△13.5pt	53.5%
自動車	68.6%	+6.7pt	66.3%
その他	59.5%	△4.1pt	62.7%
合計（除く自賠責・家計地震）	67.4%	△3.4pt	65.3%

(主な増減要因) 火災：自然災害影響 (△18.3pt)、大口事故 (△11.4pt)  
 傷害：コロナ関連保険金の影響 (△14.2pt)  
 自動車：事故件数増加・修理費単価の上昇等 (+4.8pt)、大口事故影響 (+0.9pt)

## (参考) 種目別W/P損害率

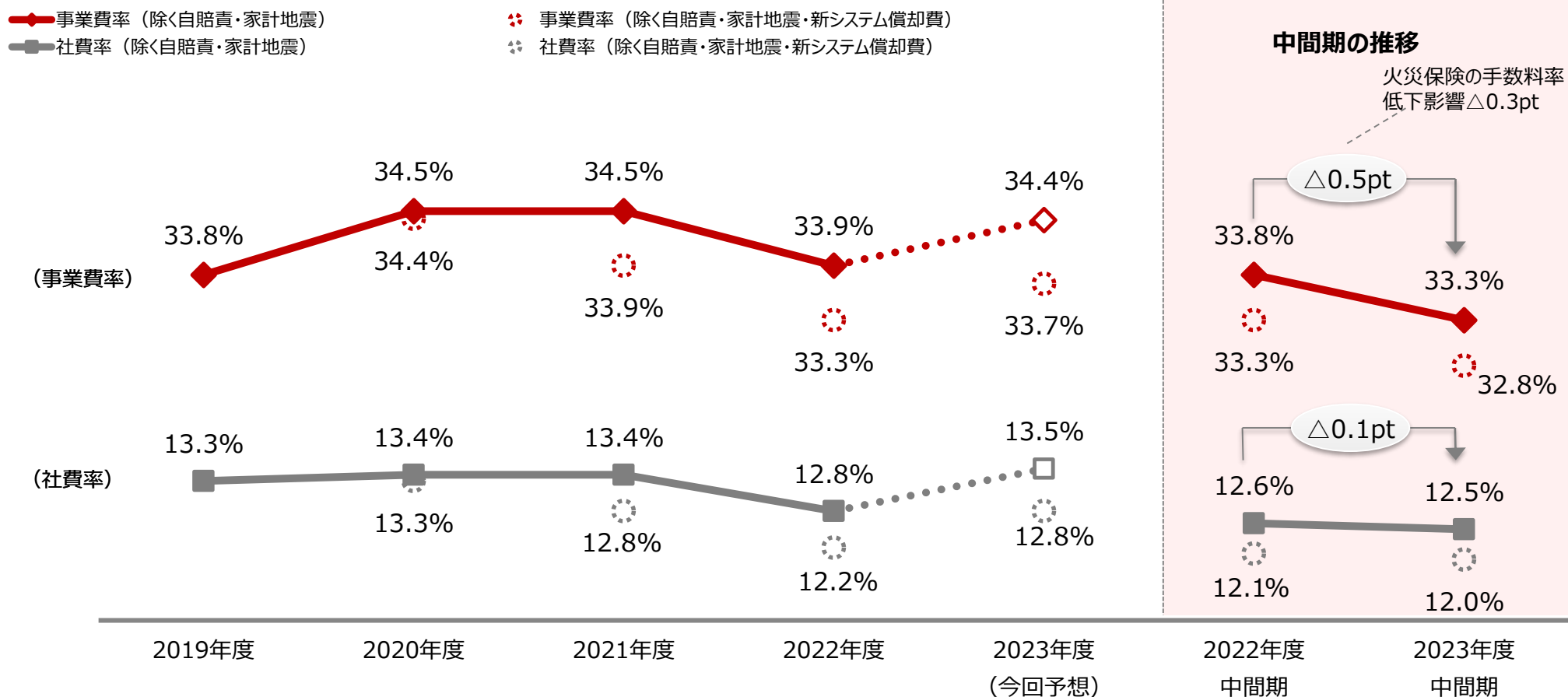
	2023年度中間期		2023年度
	実績	増減	(今回予想)
火災（除く家計地震）	78.5%	+18.6pt	73.7%
海上	50.8%	+15.1pt	60.9%
傷害	48.0%	△7.3pt	55.0%
自動車	62.7%	+4.8pt	64.1%
その他	51.4%	△0.2pt	61.2%
合計（除く自賠責・家計地震）	61.8%	+5.4pt	64.6%

※ 2023年度中間期の外貨建支払備金の為替影響（繰入額）69億円

# 事業費率（損保ジャパン）

- 火災保険の商品改定に伴う代理店手数料率の低下を主因に、2023年度中間期の事業費率は0.5pt改善
- 一方、前年度の火災保険駆込み影響の剥落を主因に、2023年度通期の事業費率は34.4%を見込む

## 事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移

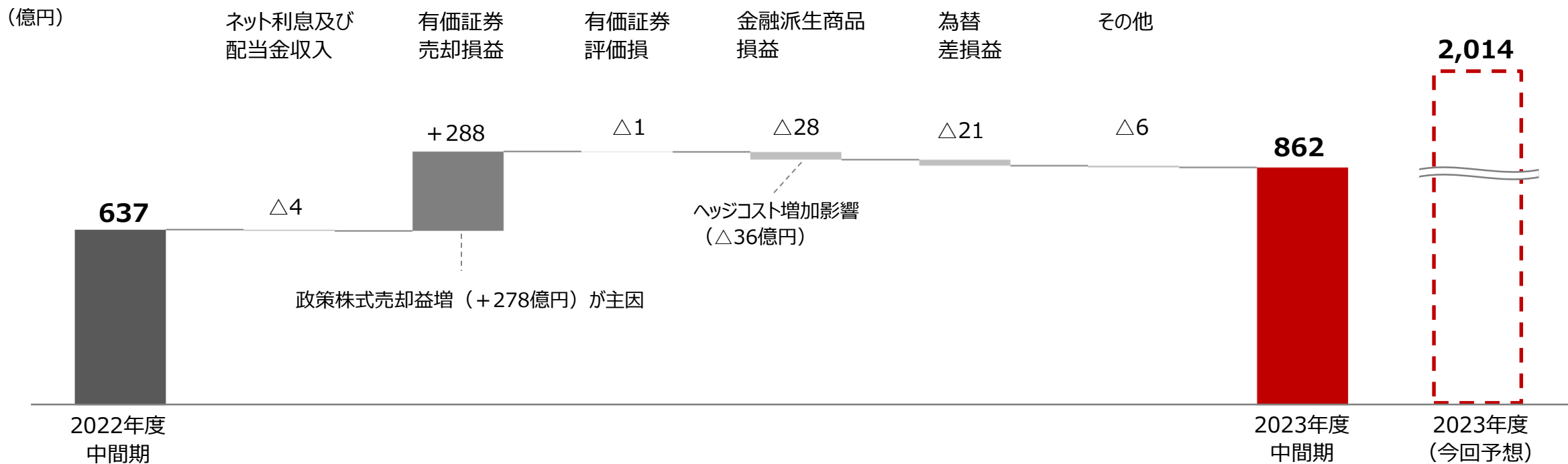


※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

# 資産運用損益（損保ジャパン）

- 2023年度中間期の資産運用損益は、政策株式売却益の増加を主因に+225億円増益の862億円
- 2023年度通期では、ネット利配増を主因に期初予想比+338億円の2,014億円を見込む

## 資産運用損益の増減要因



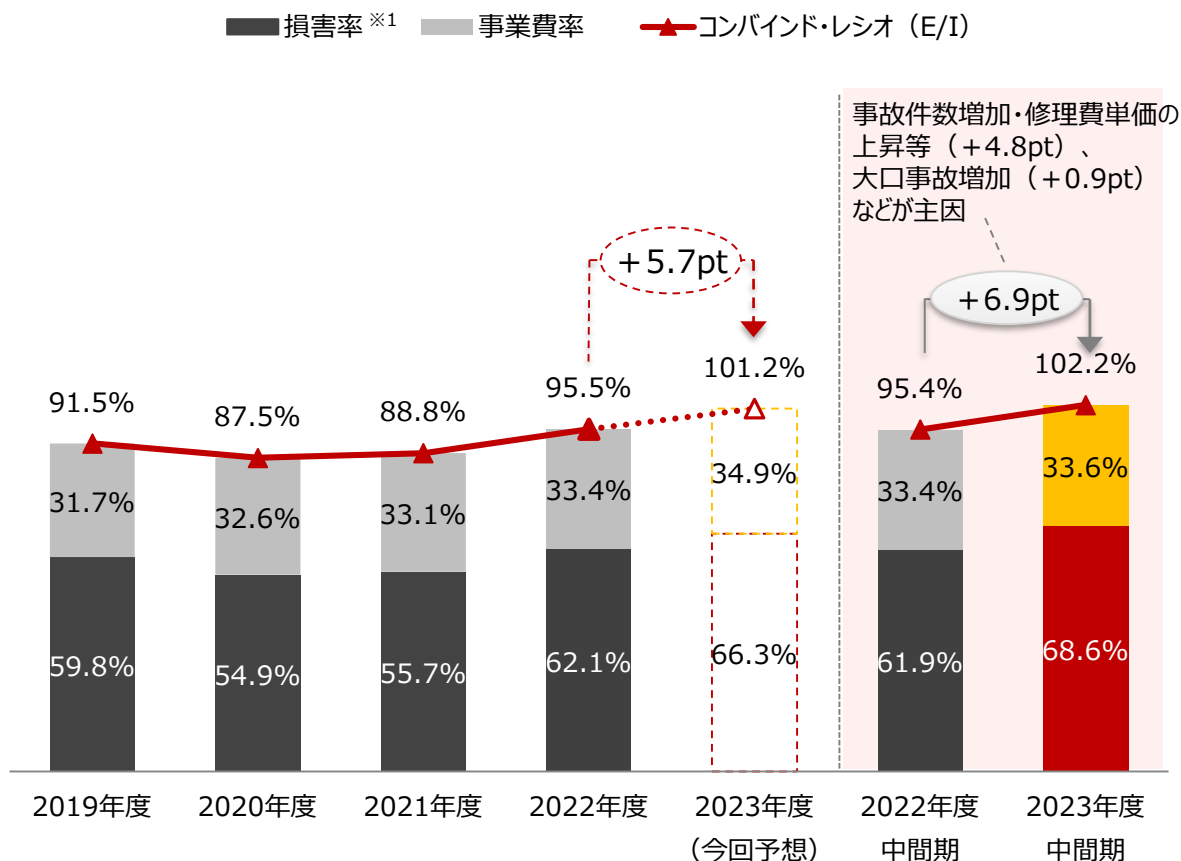
	ネット利息及び配当金収入	有価証券売却損益	有価証券評価損	金融派生商品損益	為替差損益	その他	資産運用損益	政策株式削減額
2022年度中間期	468億円	120億円	△13億円	△42億円	132億円	△28億円	637億円	294億円
<b>2023年度中間期</b>	<b>463億円</b>	<b>409億円</b>	<b>△15億円</b>	<b>△70億円</b>	<b>111億円</b>	<b>△35億円</b>	<b>862億円</b>	<b>529億円</b>
<b>2023年度(今回予想)</b>	<b>1,757億円</b>	<b>494億円</b>	<b>△71億円</b>	<b>△154億円</b>	<b>111億円</b>	<b>△123億円</b>	<b>2,014億円</b>	<b>700億円</b>

# (参考) 自動車保険関連の指標 (損保ジャパン)

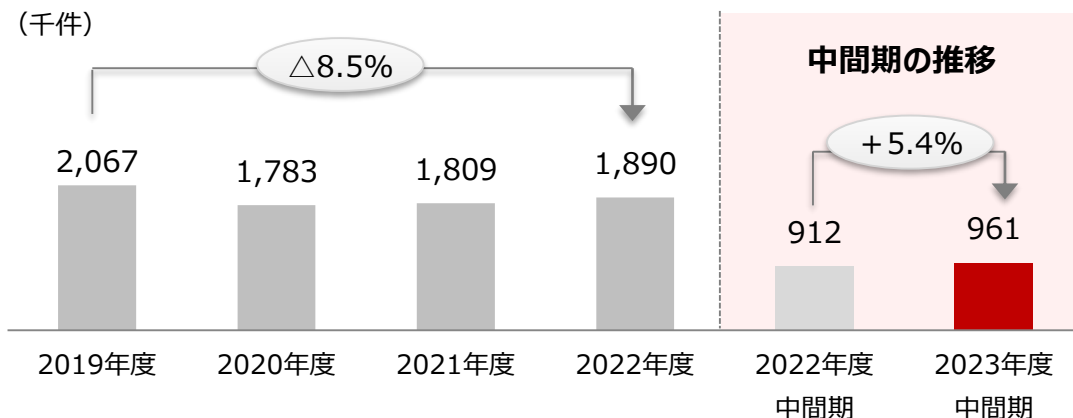
業績概況			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## コンバインド・レシオ (E/I) の推移

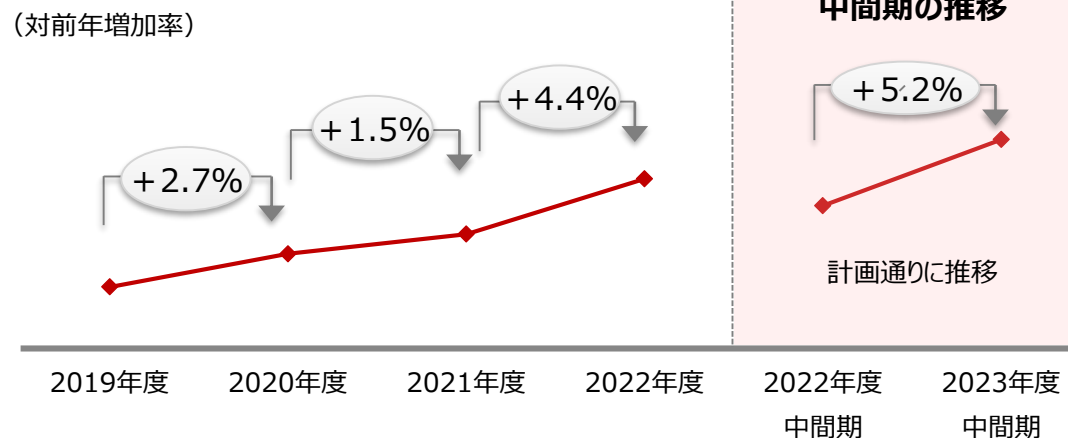


## 事故受付件数※2 の推移



※2 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

## 修理費単価推移※3



※3 車両 (自然災害影響を除く) と対物の合算

※1 損害率はE/Iベース (含む損調費)

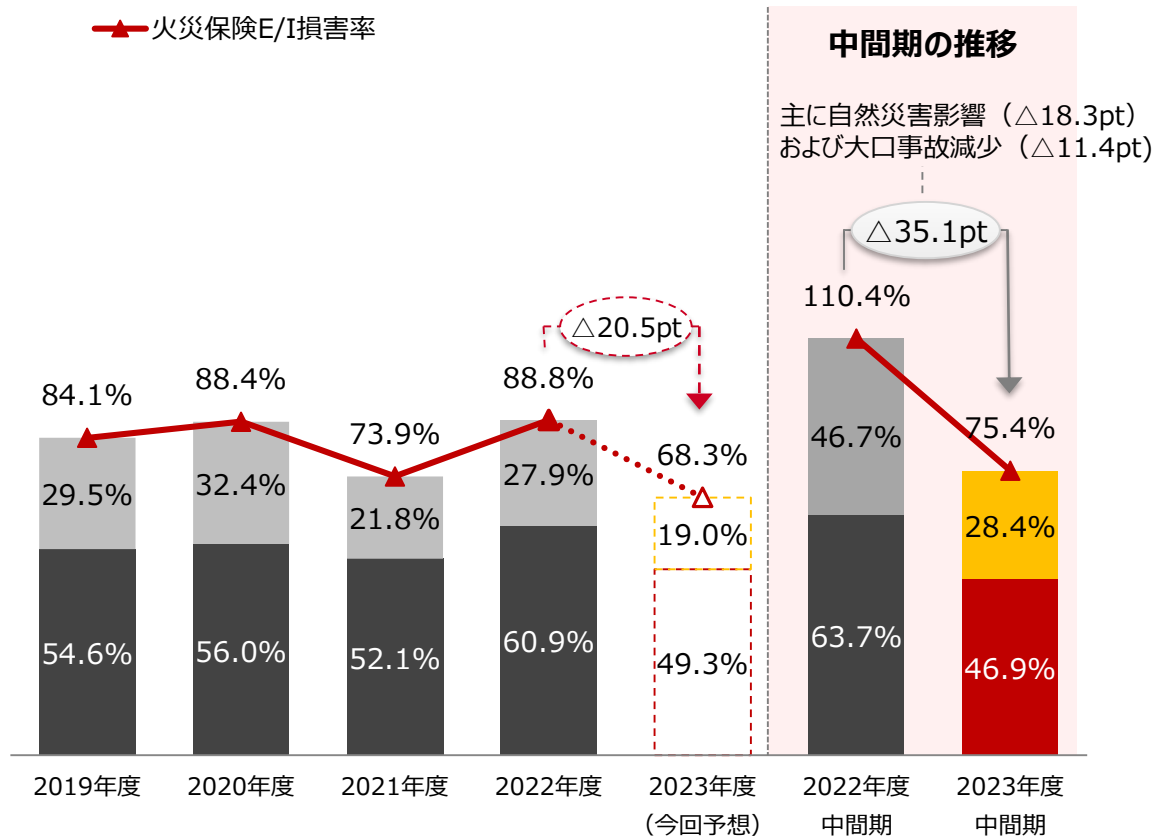
# (参考) 火災保険、新種保険関連の指標 (損保ジャパン)

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



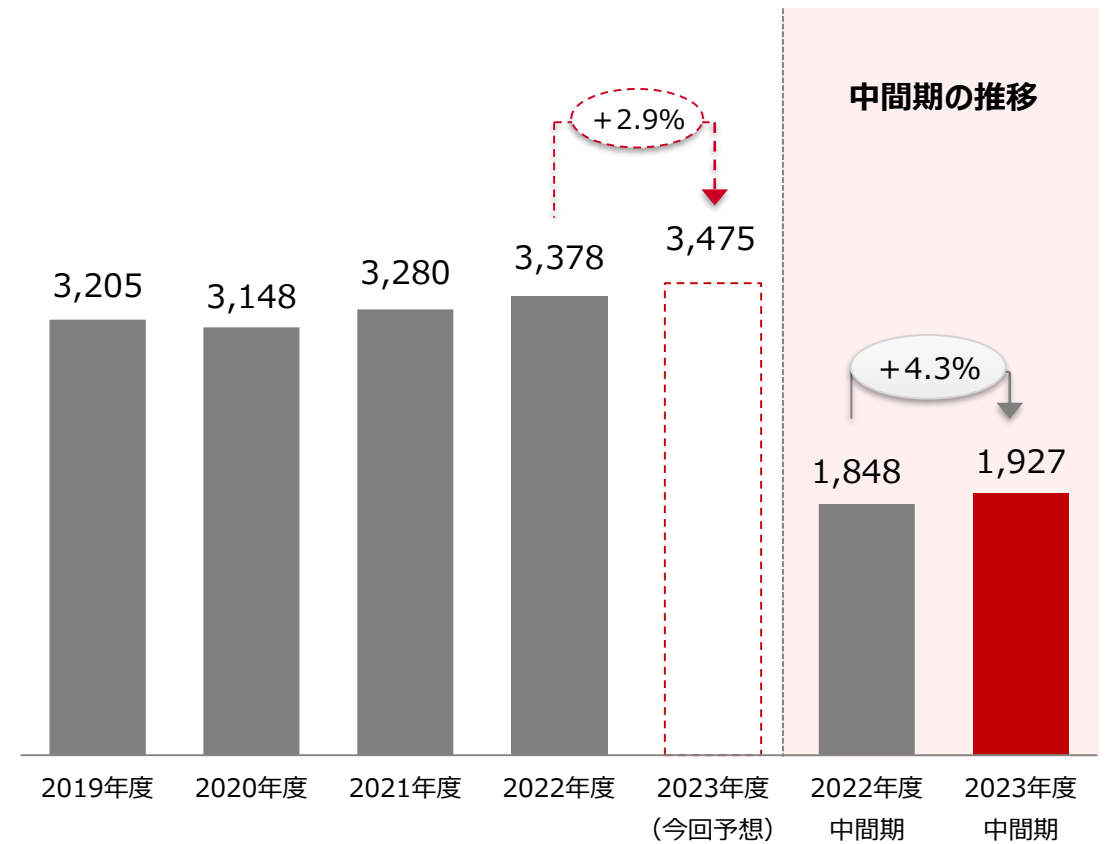
## 火災保険※のE/I損害率

- 火災保険損害率 (国内自然災害)
- 火災保険損害率 (除く国内自然災害)
- ▲ 火災保険E/I損害率



## 新種保険正味収入保険料

(億円)



※ 除く家計地震



# (参考) 国内自然災害 (損保ジャパン)

## 国内自然災害の正味発生損 (当年度発生) ※

(億円)

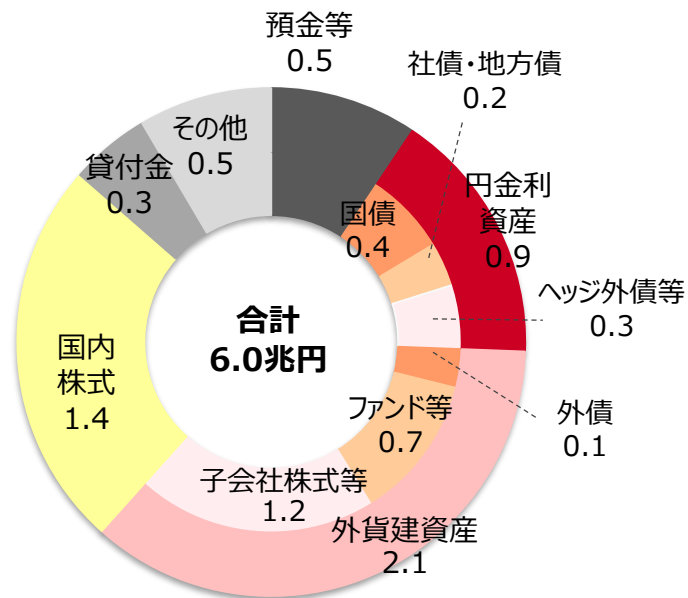


※ 除く自賠責・家計地震

# (参考) 資産ポートフォリオ (損保ジャパン)

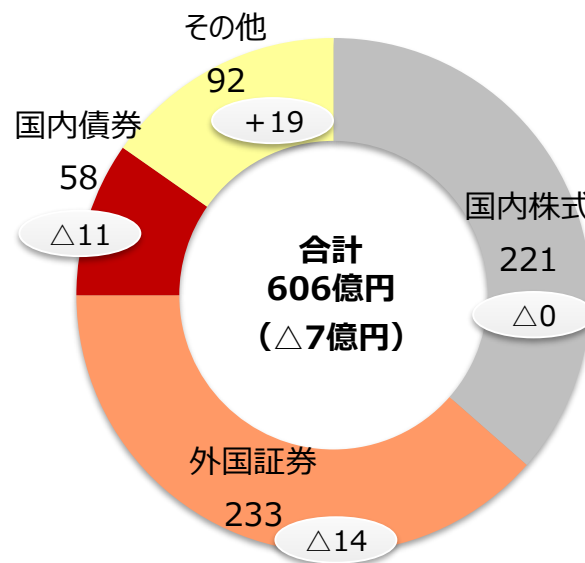
## 資産ポートフォリオ (2023年9月末、一般勘定)

(兆円)



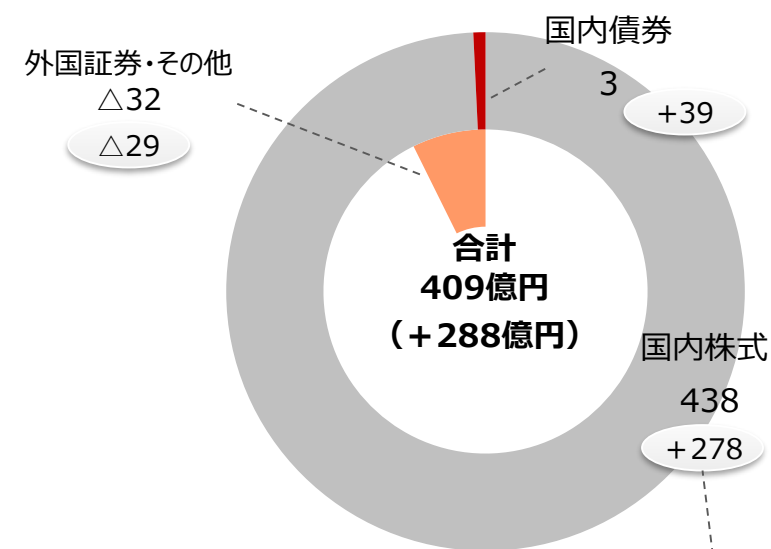
## 利息及び配当金収入の内訳

(億円)



## 有価証券売却益の内訳

(億円)



政策株式 (現物) ネット売却額増加 (+231億円) が主因

○ : 前年同期対比の増減額

	2021年 3月末	2022年 3月末	2023年 3月末	2023年 9月末
インカム利回り*	3.0%	3.0%	3.0%	3.2%
デュレーション	資産	8.2年	7.9年	7.9年
	負債	8.3年	7.7年	7.6年

※ 海外グループ会社株式等を除く

# (参考) 決算数値 (損保ジャパン)

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(単位：億円)	中間期業績			通期業績予想				対前年 増減 (C-A)
	2022年度 中間期	2023年度 中間期	増減	2022年度 実績 (A)	期初予想 (B)	2023年度 今回予想 (C)	増減 (C-B)	
正味収入保険料	11,620	11,247	△373	22,255	22,250	21,890	△360	△365
(除く自賠責・家計地震)	10,569	10,218	△350	20,147	20,474	20,081	△393	△65
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	9,820	10,085	+265	19,797	20,479	20,274	△204	+477
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	70.8%	67.4%	△3.4pt	67.0%	63.0%	65.3%	+2.2pt	△1.7pt
正味損害率	58.2%	63.3%	+5.1pt	64.1%	64.5%	66.8%	+2.2pt	+2.7pt
(除く自賠責・家計地震)	56.3%	61.8%	+5.4pt	62.8%	62.4%	64.6%	+2.2pt	+1.9pt
正味事業費率	33.5%	33.2%	△0.3pt	33.5%	34.4%	34.5%	+0.1pt	+1.0pt
(除く自賠責・家計地震)	33.8%	33.3%	△0.5pt	33.9%	34.2%	34.4%	+0.2pt	+0.5pt
コンバインド・レシオ (E/I) ※1 (除く自賠責・家計地震)	104.6%	100.7%	△3.9pt	100.9%	97.3%	99.7%	+2.4pt	△1.2pt
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	90.2%	95.1%	+4.9pt	96.7%	96.7%	99.0%	+2.4pt	+2.4pt
保険引受利益	△1,085	117	+1,202	△198	730	770	+40	+968
資産運用利益	637	862	+225	1,585	1,675	2,014	+338	+428
経常利益	△500	910	+1,410	1,249	2,250	2,630	+380	+1,380
当期純利益	△343	661	+1,005	1,080	1,800	2,110	+310	+1,029
修正利益								
異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+324	△84	△409	△71	△117	△423	△306	△351
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+15	+16	+0	+32	+31	+31	-	△0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△73	△279	△206	△204	△210	△285	△75	△80
特殊要因 (税引後) ※2	△14	△32	△18	△504	△709	△853	△143	△348
修正利益	△91	280	+371	331	795	580	△215	+248

※1 E/I損害率+正味事業費率

※2 グループ会社配当、株式先物関連損益等

# 事業別詳細

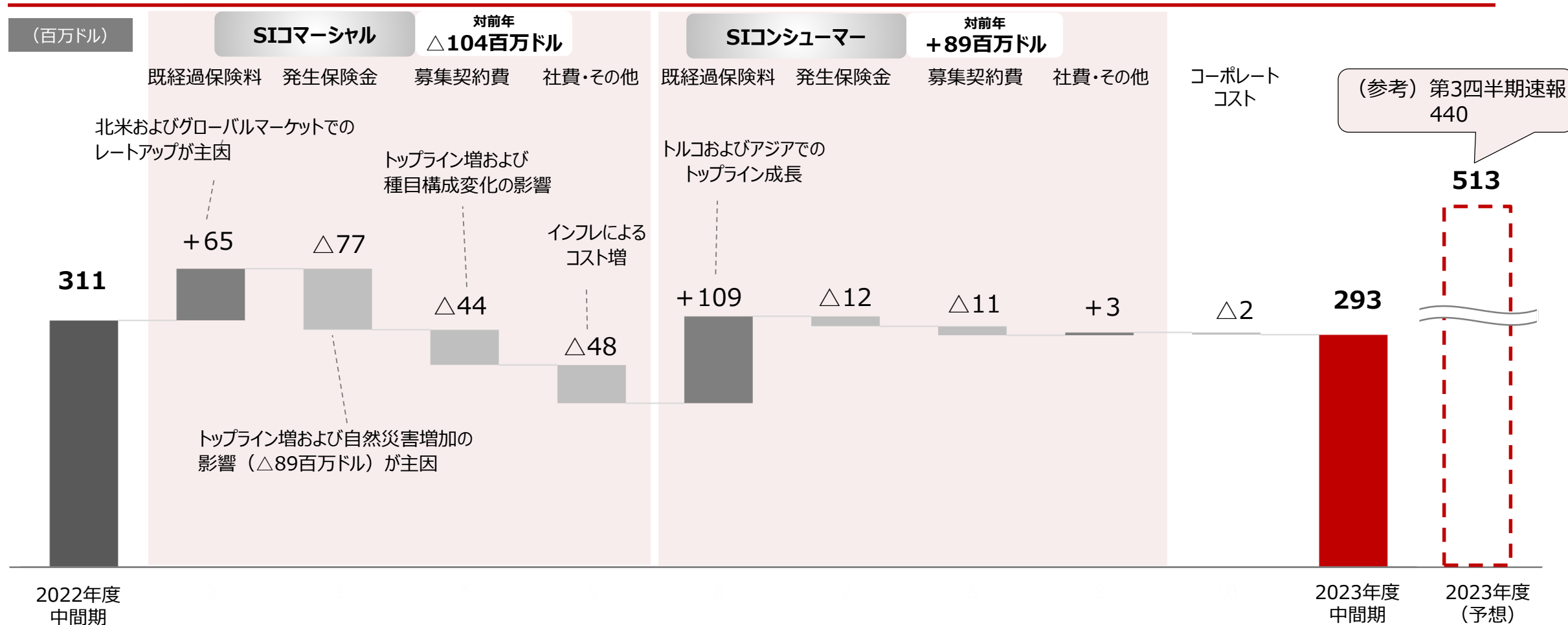
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	16
<b>海外保険事業</b>	<b>28</b>
国内生保事業	36
介護・シニア事業	42
ERM	45



# 保険引受利益（海外保険事業）

- 2023年度中間期の保険引受利益は、自然災害やインフレ影響をトップラインの成長でオフセットし293百万ドル
- 2023年度第3四半期の保険引受利益速報は440百万ドル、通期は513百万ドルを見込む

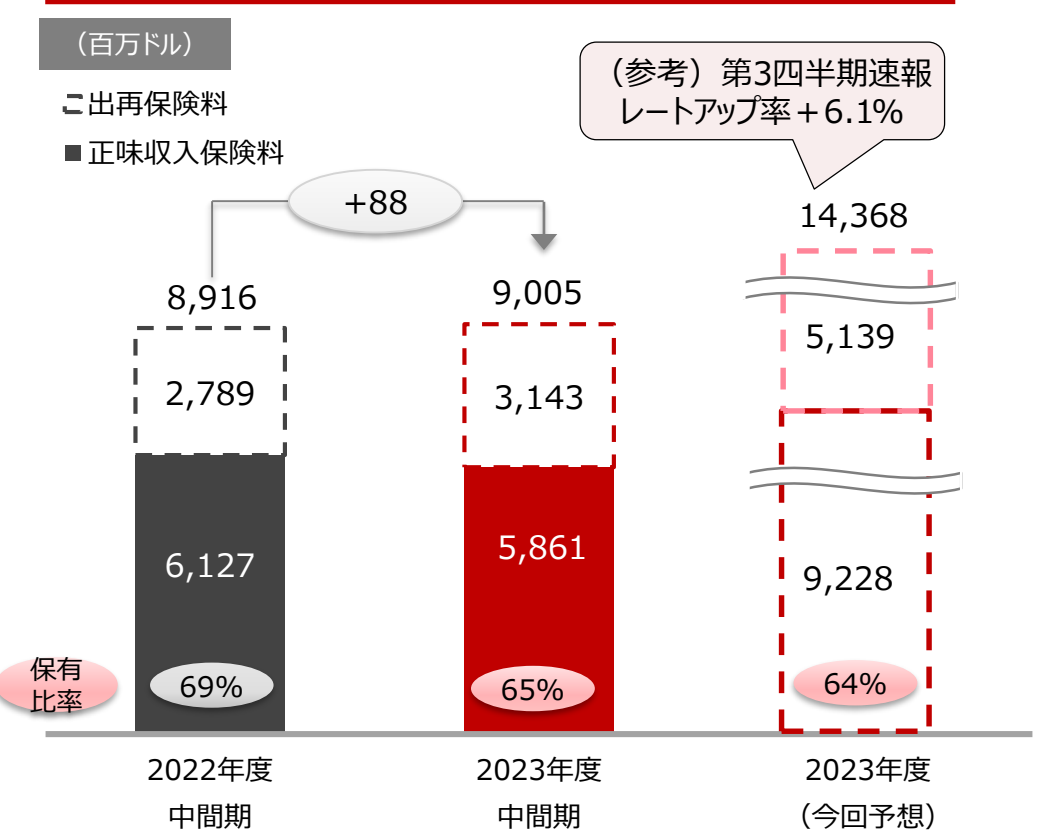
## 保険引受利益の増減要因



# 収入保険料 (SIコマース)

- 2023年度中間期のグロス保険料は、注力地域の北米およびグローバルマーケットで好調に伸展し、+88百万ドル増収
- 農業保険は、穀物生育状況の悪い地域や、地理的集中を避けるため、戦略的に出再を増加

## グロス保険料



(中間期の主な増減要因)

- 北米 : プロパティ、カジュアルティ種目を中心とした継続的なレートアップ
- グローバルマーケット : EMEA、ブラジル、アジアが好調
- 農業保険 : 綿花等の価格下落影響、生育状況悪化による出再増
- 再保険 : 更改のタイミング変更影響 (第3四半期に平準化)

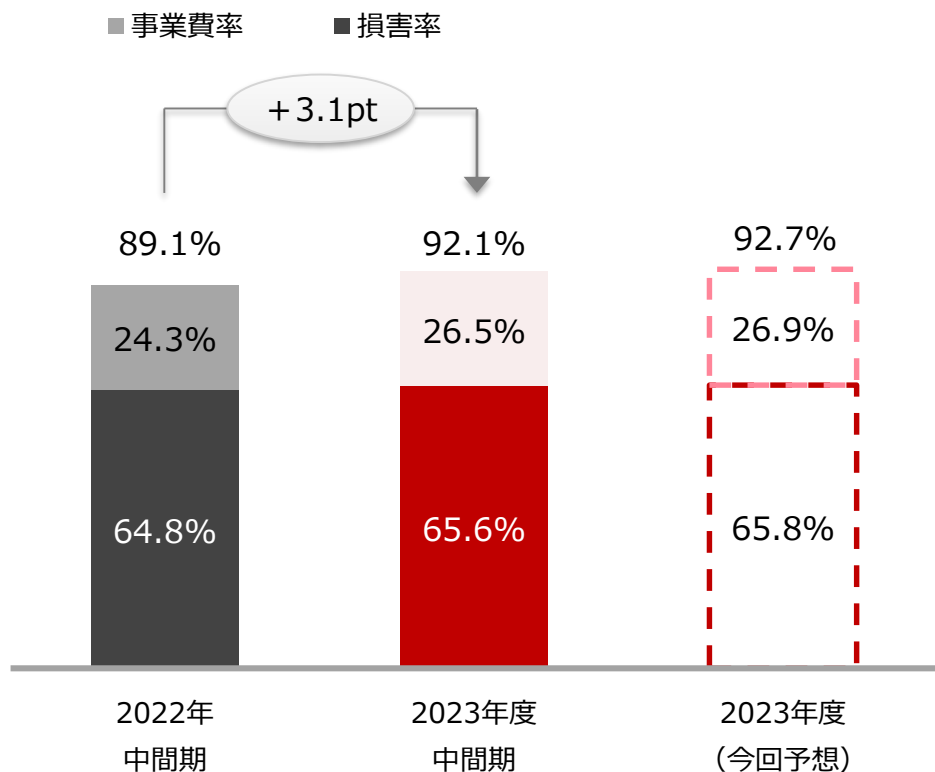
## (参考) セグメント別トップライン (単位: 百万ドル)

		2022年度 中間期	2023年度 中間期	増減
グロス保険料	北米	2,220	2,407	+186 (+8.4%)
	グローバルマーケット	1,131	1,276	+145 (+12.9%)
	農業保険	2,217	2,063	△154 (△7.0%)
	再保険	3,347	3,257	△89 (△2.7%)
正味収入保険料	北米	1,156	1,320	+163 (+14.1%)
	グローバルマーケット	584	632	+48 (+8.3%)
	農業保険	1,297	1,001	△296 (△22.8%)
	再保険	3,061	2,908	△153 (△5.0%)
既経過保険料	北米	1,169	1,342	+173 (+14.9%)
	グローバルマーケット	596	625	+28 (+4.7%)
	農業保険	651	553	△97 (△15.0%)
	再保険	1,752	1,729	△22 (△1.3%)
保有比率	北米	52%	55%	+3pt
	グローバルマーケット	52%	50%	△2pt
	農業保険	58%	49%	△10pt
	再保険	91%	89%	△2pt

# コンバインド・レシオ (SIコマーシャル)

- 2023年度中間期のコンバインド・レシオは、自然災害発生保険金増やインフレによる人件費増等の影響で+3.1pt上昇の92.1%

## コンバインド・レシオ



(2023年度中間期コンバインド・レシオの主な増減要因)

- 北米 : レートアップおよびシェア拡大により改善
- グローバルマーケット : トルコにおける、トルコ・シリア地震およびインフレ影響
- 農業保険 : 既経過保険料の減収および2022年度のテキサス干ばつ影響による損害率上昇
- 再保険 : 自然災害発生保険金増による損害率上昇

## (参考) セグメント別コンバインド・レシオ

	2022年度 中間期	2023年度 中間期	増減	
損害率	北米	69.1%	65.3%	△3.8pt
	グローバルマーケット	56.7%	62.9%	+6.2pt
	農業保険	81.3%	88.2%	+6.9pt
	再保険	58.6%	59.6%	+1.0pt
事業費率	北米	20.8%	23.2%	+2.5pt
	グローバルマーケット	31.9%	33.2%	+1.2pt
	農業保険	9.0%	13.6%	+4.5pt
	再保険	29.9%	30.8%	+0.9pt
コンバインド・レシオ	北米	89.8%	88.6%	△1.2pt
	グローバルマーケット	88.6%	96.1%	+7.5pt
	農業保険	90.3%	101.8%	+11.5pt
	再保険	88.5%	90.3%	+1.9pt
保険引受利益 (百万ドル)	北米	120.3	153.8	+33.4
	グローバルマーケット	71.5	27.3	△44.2
	農業保険	46.9	△10.5	△57.4
	再保険	200.2	168.0	△32.2
合計	445.2	340.6	△104.6	

自然災害発生保険金増加 (対前年+89百万ドル) が主因

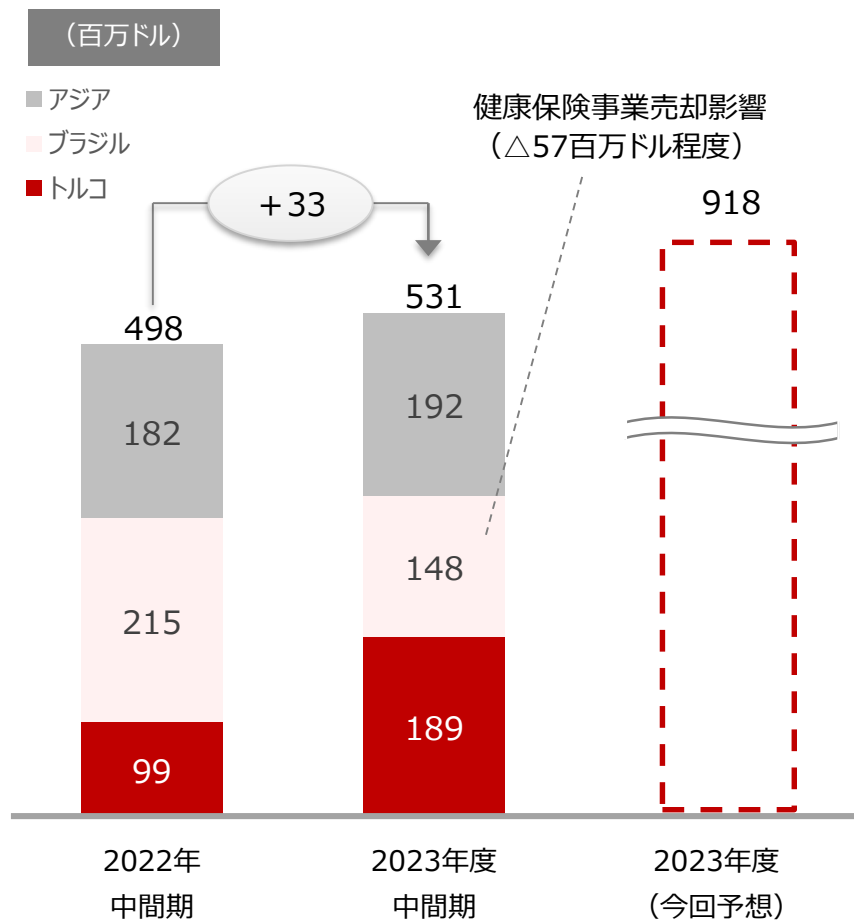
# SIコンシューマー業績概況

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



- 2023年度中間期の正味収入保険料は、トルコ、アジアでのレートアップ効果等により+33百万ドル増収
- トルコの収益改善がけん引し、コンバインド・レシオは20.2pt改善の96.4%、保険引受利益は+89百万ドル増益の22百万ドル

## 正味収入保険料



(参考) セグメント別コンバインドレシオ		2022年 中間期	2023年度 中間期	増減
損害率	トルコ	139.3%	61.7%	△77.6pt
	ブラジル	79.2%	64.6%	△14.6pt
	アジア	46.9%	55.9%	+9.0pt
	合計	73.9%	60.5%	△13.4pt
事業費率	トルコ	50.2%	28.2%	△21.9pt
	ブラジル	43.9%	40.4%	△3.6pt
	アジア	39.1%	39.4%	+0.3pt
	合計	42.8%	35.9%	△6.9pt
コンバインド・レシオ	トルコ	189.5%	89.9%	△99.5pt
	ブラジル	123.2%	105.0%	△18.2pt
	アジア	86.1%	95.3%	+9.2pt
	合計	116.6%	96.4%	△20.2pt
保険引受利益 (百万ドル)	トルコ	△50.6	17.5	+68.2
	ブラジル	△40.2	△7.5	+32.7
	アジア	24.4	13.0	△11.3
	合計	△66.5	22.9	+89.6

(2023年度中間期コンバインド・レシオの主な増減要因)

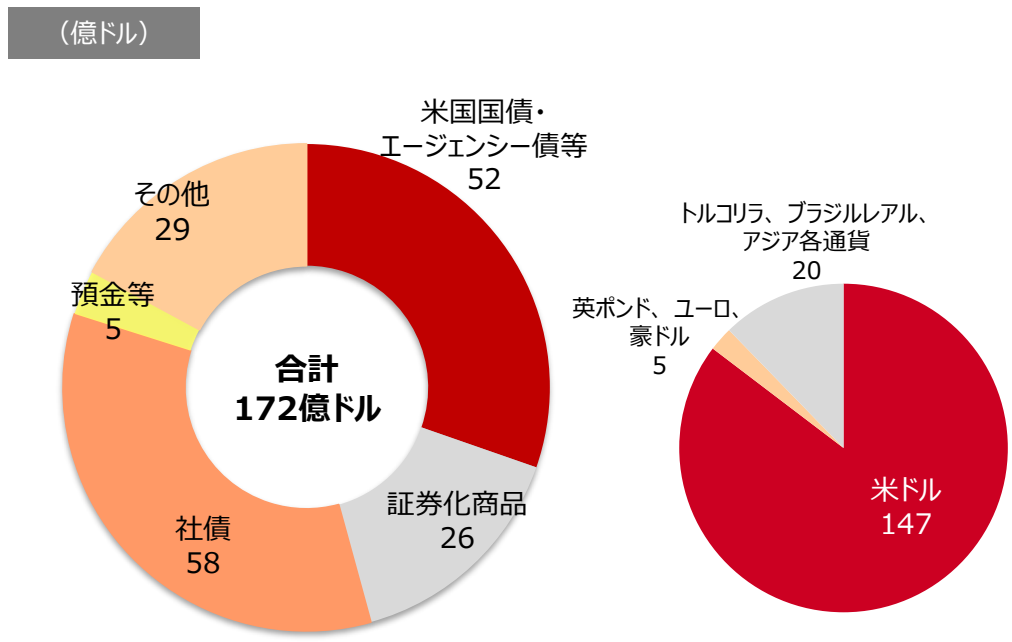
トルコ : インフレを織り込んだレートアップにより、トップラインが大幅増  
 ブラジル : 健康保険事業売却による損害率改善と、2022年度計上の一過性の引当金影響の剥落  
 アジア : 自動車保険の損害率上昇



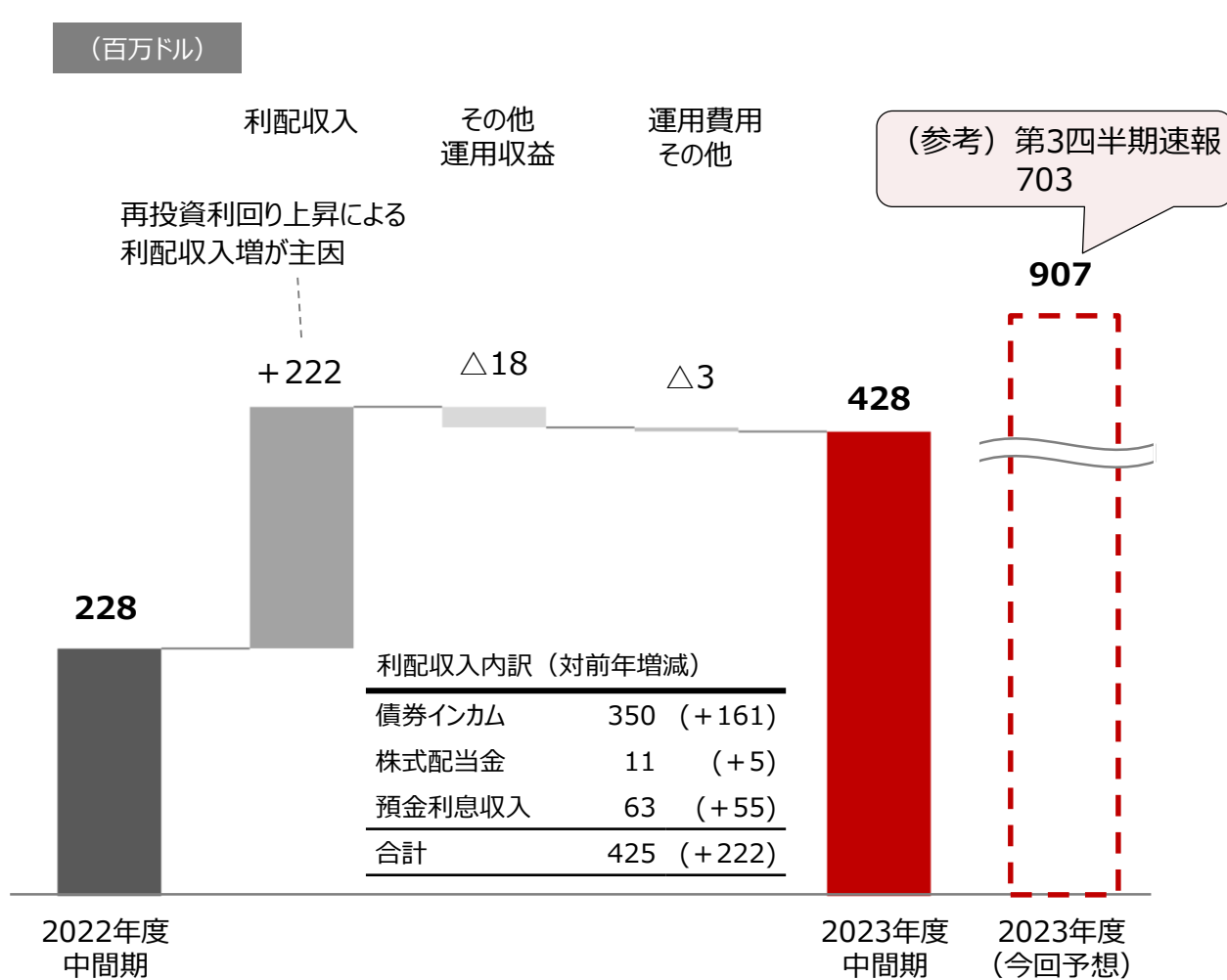
# 資産ポートフォリオ・資産運用損益（海外保険事業）

- 2023年度中間期の資産運用損益は、運用資産額増加と再投資利回り上昇による利配収入増により、+199百万ドル増益の428百万ドル

## 資産ポートフォリオ（2023年6月末、海外保険事業※）



## 海外保険事業の資産運用損益の内訳



	2021年 12月末	2022年 12月末	2023年 6月末
債券市場利回り	2.4%	6.7%	6.7%
債券簿価利回り	2.7%	4.6%	5.2%
資産 デュレーション	2.9年	3.2年	3.3年
負債	2.8年	2.4年	2.3年

※ Sompoインターナショナルホールディングス非連結会社を除く

# (参考) 海外自然災害 (SIコマース)

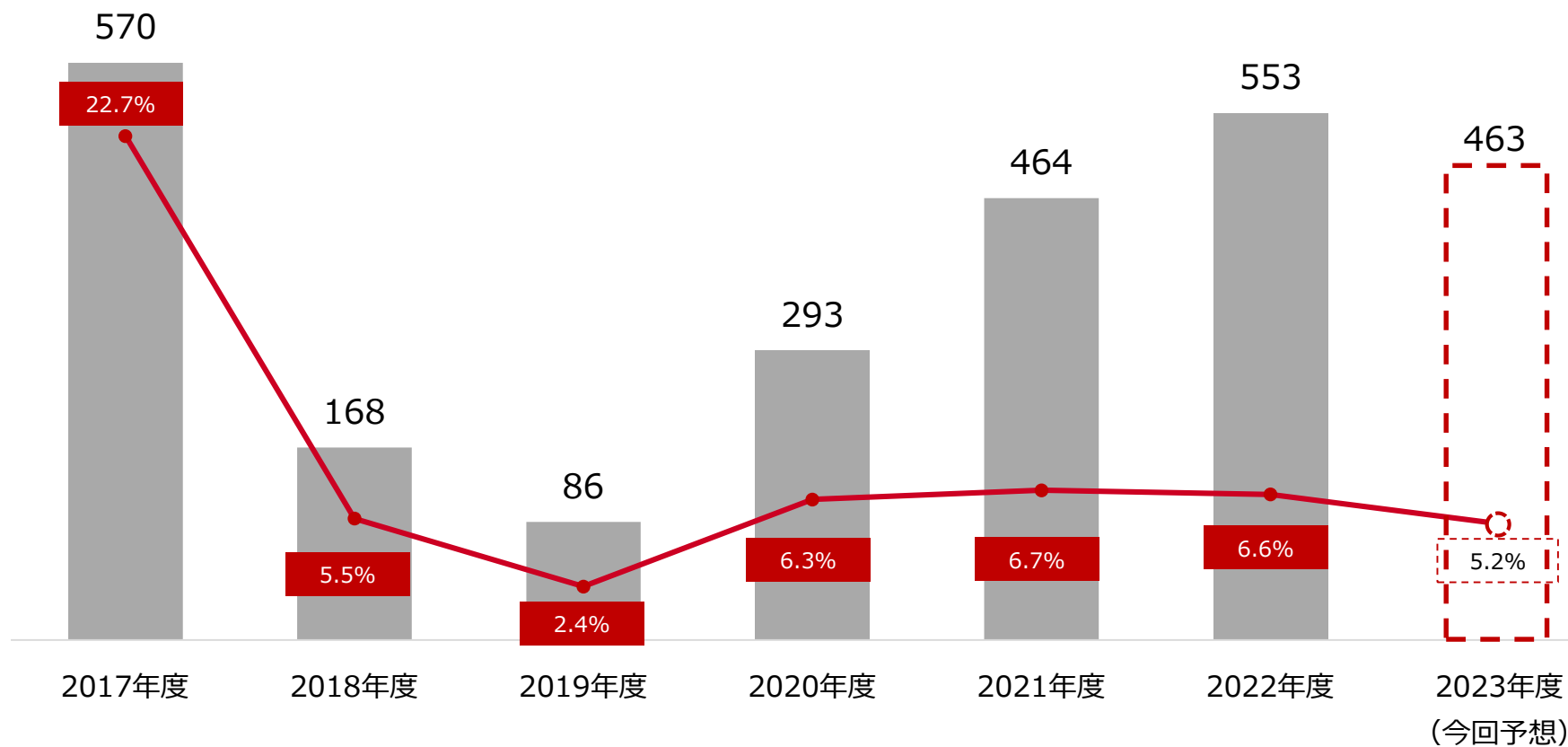
業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 海外自然災害影響※ (当年度発生)

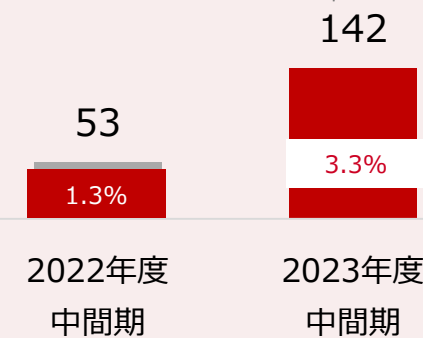
(百万ドル)

損害率影響  
(対既経過保険料)



### 中間期の推移

米国トルネード	33
サイクロン・ガブリエル	19
ニュージーランド洪水	7
トルコ地震	7
その他	76



※海外自然災害影響には復元保険料を含む

# (参考) 決算数値

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(億円)

	2022年度 中間期	2023年度 中間期				増減		2023年度 予想
	海外計	SIコマース	SIコンシューマー	コーポレート	海外計			海外計
グロス保険料	12,999	13,056	908	—	13,965	+965	(+7.4%)	23,369
正味保険料	9,055	8,498	770	—	9,269	+213	(+2.4%)	15,239
既経過保険料	6,275	6,163	744	—	6,907	+632	(+10.1%)	14,660
発生保険金	4,119	4,042	449	—	4,492	+373	(+9.1%)	9,663
事業費	1,713	1,635	267	101	2,003	+290	(+16.9%)	4,068
保険引受利益	426	493	33	△101	425	△0	(△0.0%)	767
損害率	65.6%	65.6%	60.5%	—	65.0%	△0.6pt	—	65.9%
事業費率	27.3%	26.5%	35.9%	—	29.0%	+1.7pt	—	29.0%
コンバインド・レシオ	92.9%	92.1%	96.4%	—	94.0%	+1.1pt	—	94.9%
資産運用利益	312	—	—	—	620	+308	(+98.8%)	1,357
当期純利益※1	△183	—	—	—	829	+1,012	—	1,743
為替損益	△19	—	—	—	△50	△31	—	△78
有価証券売却・減損損失等※2	+1,350	—	—	—	△118	△1,469	(△108.8%)	+146
保険負債割引影響	△667	—	—	—	+132	+799	—	△77
その他※3	+29	—	—	—	+25	△3	(+13.8%)	△54
海外保険事業修正利益	510	—	—	—	818	+307	(+60.3%)	1,680

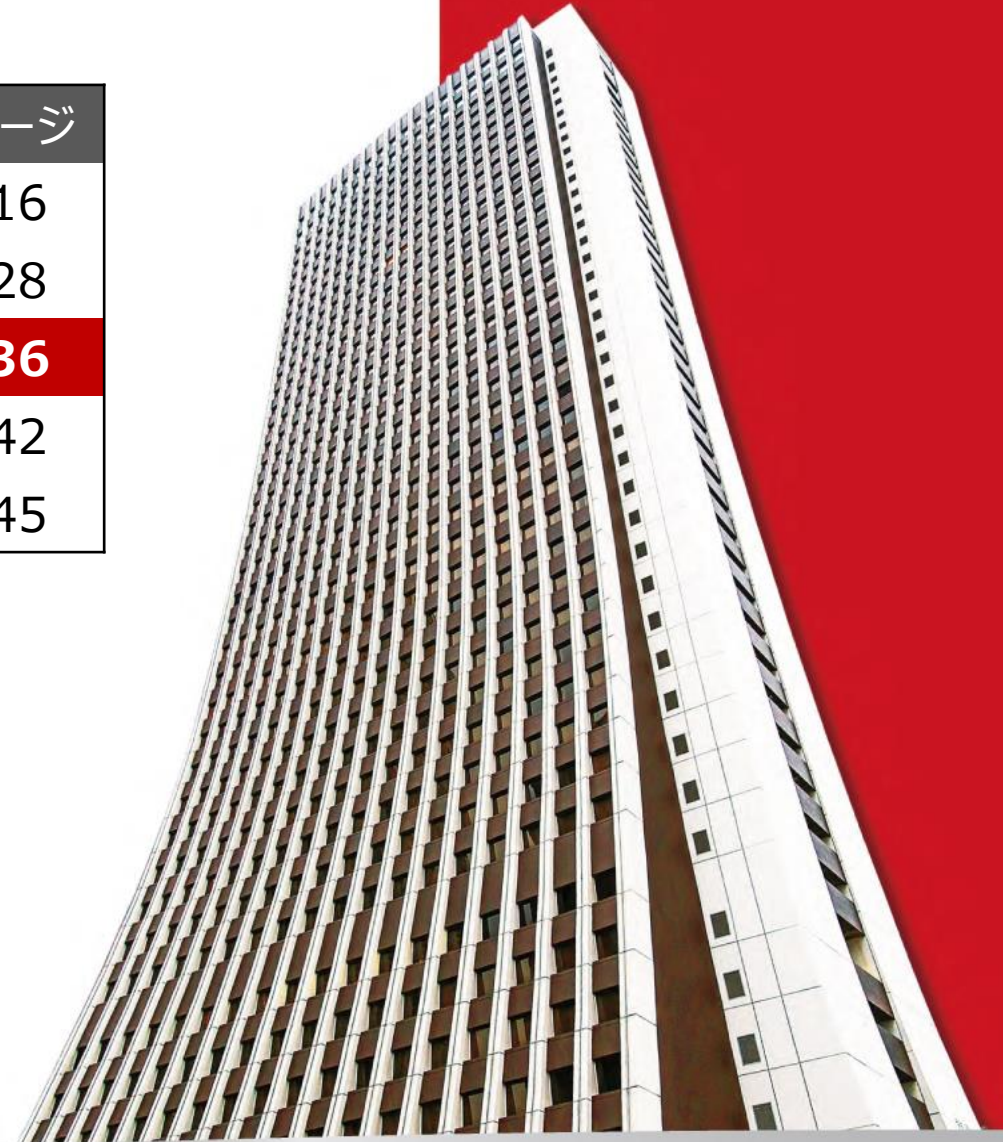
※1 2023年度からSIにおいてIFRS新基準（IFRS9およびIFRS17）を適用したことによる遡及修正の影響を含む、修正利益は定義変更なし

※2 未実現損益を含む

※3 税等

# 事業別詳細

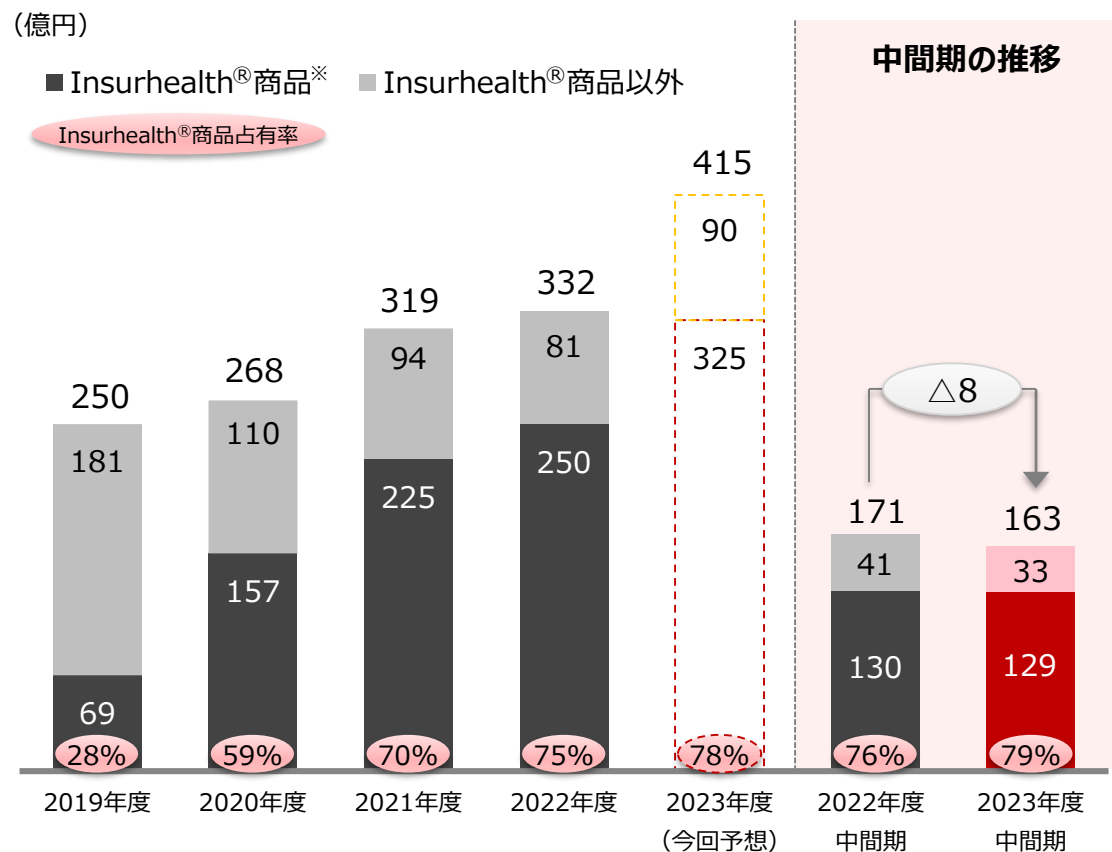
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	16
海外保険事業	28
<b>国内生保事業</b>	<b>36</b>
介護・シニア事業	42
ERM	45



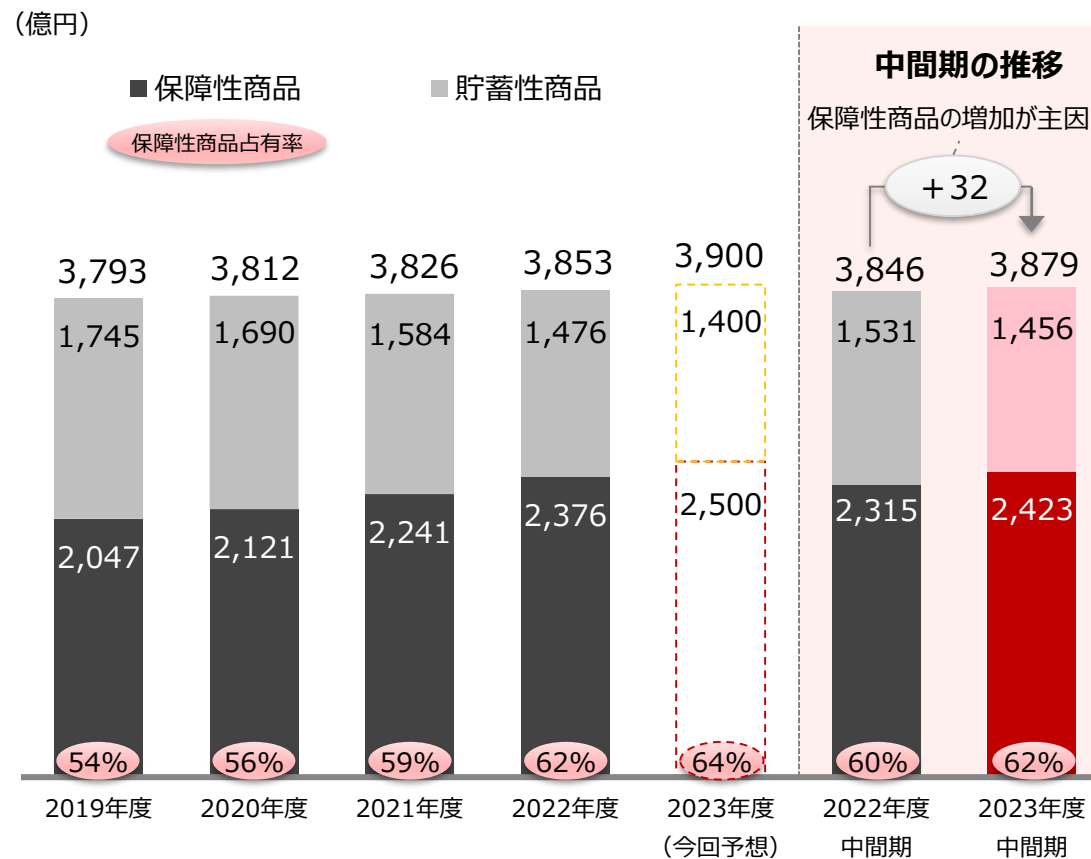
# 新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料

- 保有契約年換算保険料は、Insurhealth®のがん保険を中心に増加が継続

## 新契約年換算保険料



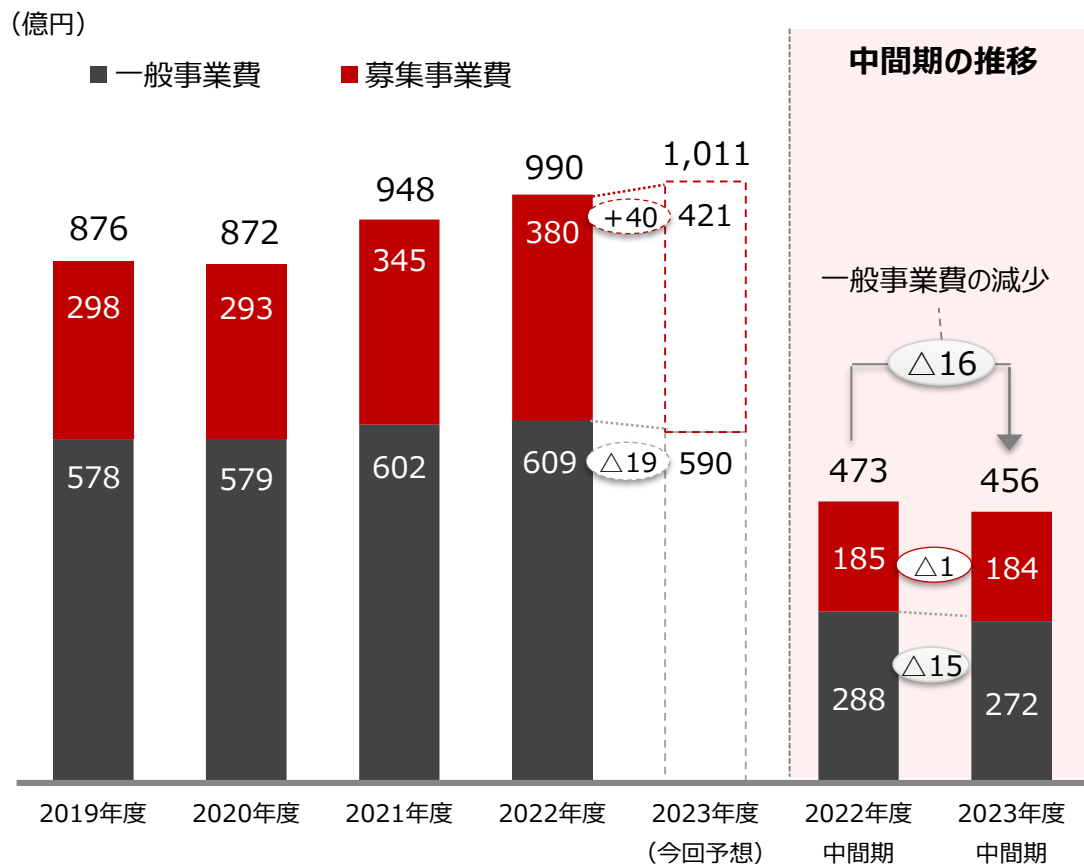
## 保有契約年換算保険料



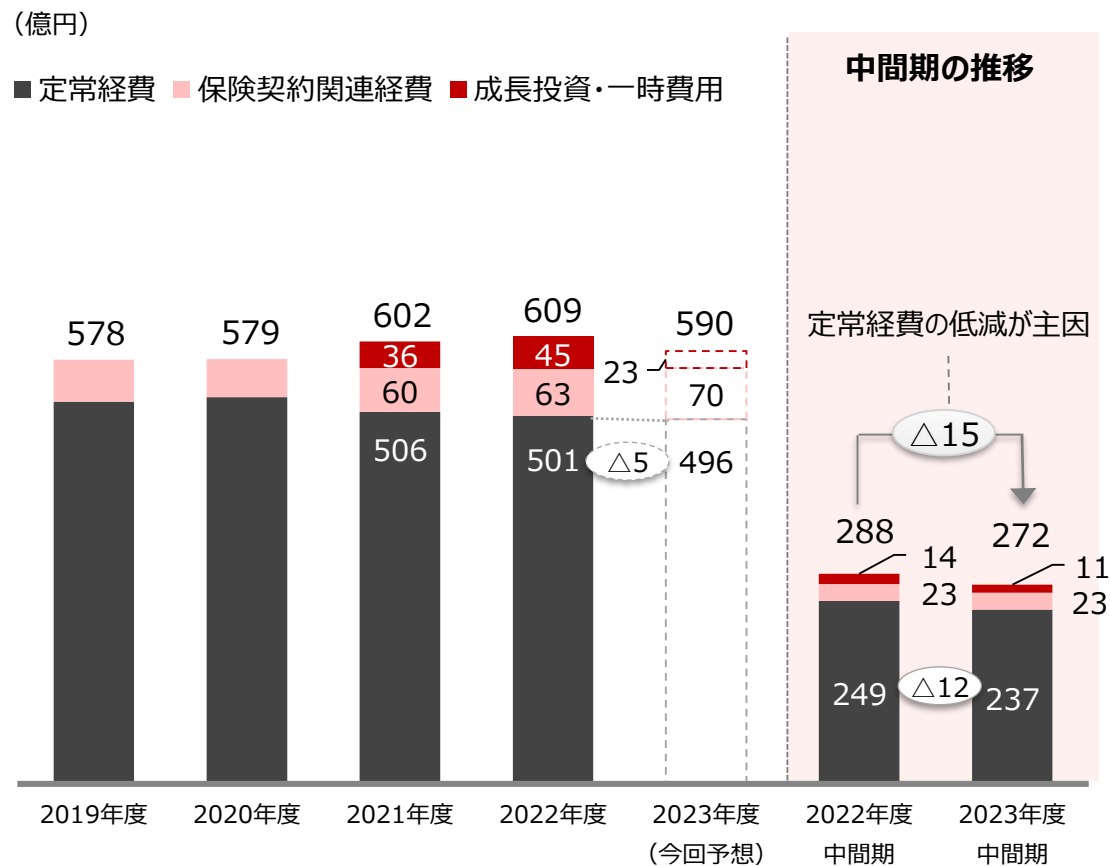
※ 保険本来の保障機能 (Insurance) に健康を応援する機能 (Healthcare) を組み合わせ新たな価値を提供する商品

- 一般事業費の適正なコントロールにより、2023年度中間期の事業費は対前年で△16億円減少

## 事業費の推移



## 一般事業費の推移

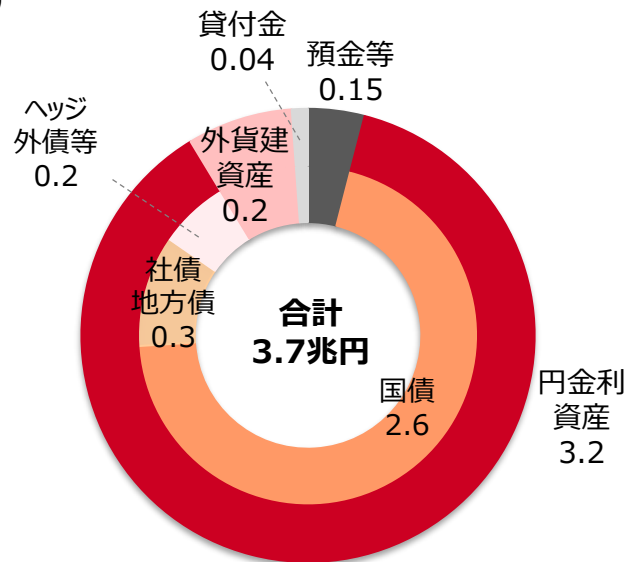


# 資産ポートフォリオ・資産運用損益

- 超長期債の投入拡大継続もあり、デュレーションギャップは縮小
- ヘッジ外債削減の前倒しによって、通期ではヘッジコスト抑制効果も見込む

## 資産ポートフォリオ（2023年9月末、一般勘定）

(兆円)

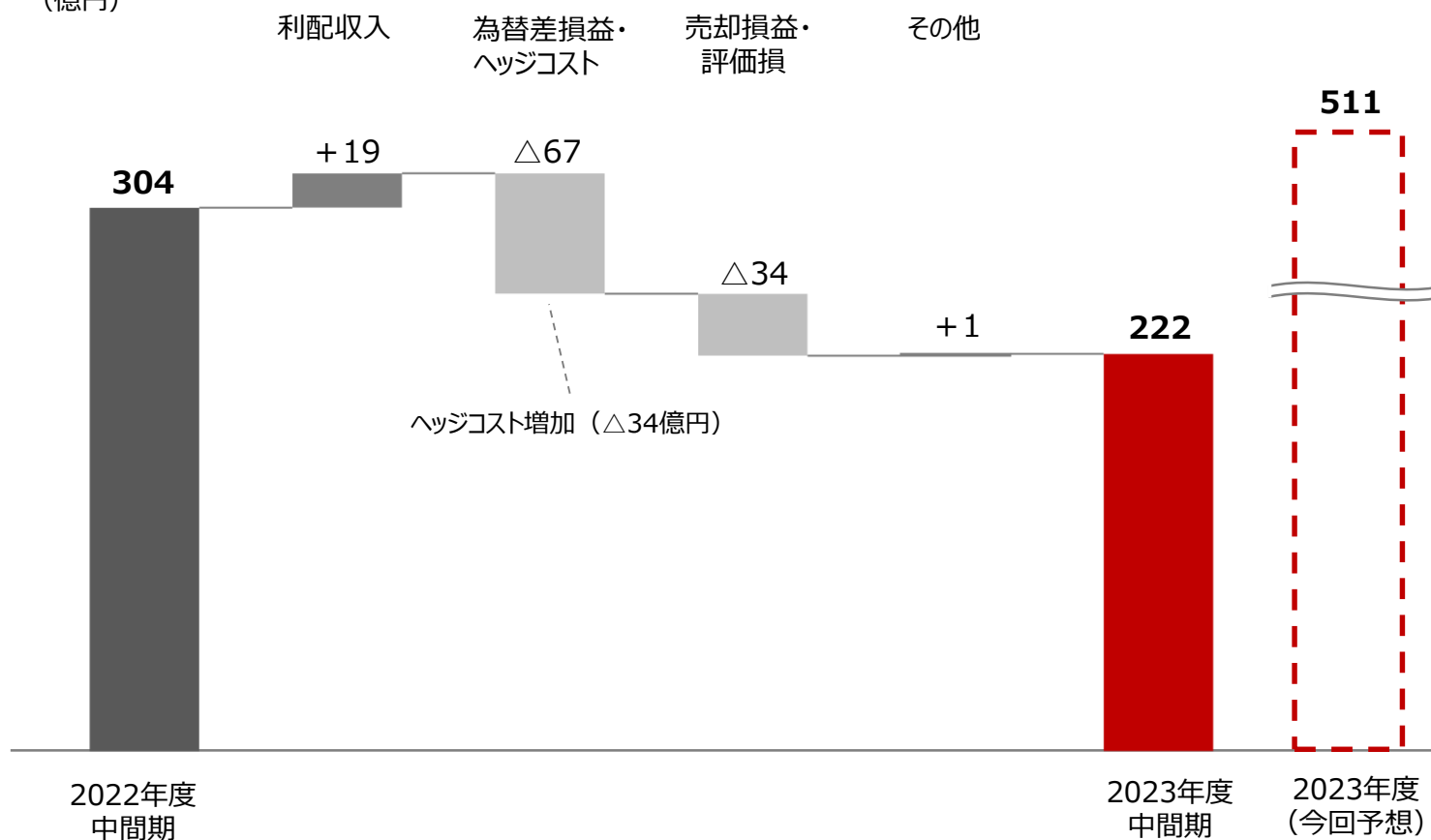


	2021年 3月末	2022年 3月末	2023年 3月末	2023年 9月末
インカム利回り	1.5%	1.5%	1.5%	1.6%
資産	15年	16年	17年	16年
デュレーション	26年	24年	20年	18年
差	10年	8年	3年	2年

(参考) 債券資産の格付構成：BB格以下の保有なし

## 資産運用損益（一般勘定）の増減要因

(億円)



# (参考) 決算数値

	業績概況		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(億円)	2022年度 中間期	2023年度 中間期	増減		2022年度 実績	2023年度 今回予想	対前年増減
新契約年換算保険料	171	163	△8	(△4.7%)	332	415	+82
保険料等収入※1	2,123	2,128	+4	(+0.2%)	4,344	4,398	+53
責任準備金繰入等※2	1,314	1,290	△24	(△1.8%)	2,701	2,670	△30
保険金等支払	640	430	△210	(△32.8%)	1,134	890	△244
事業費	473	456	△16	(△3.6%)	990	1,011	+21
資産運用損益	302	255	△46	(△15.5%)	603	525	△77
(うち一般勘定)	304	222	△81	(△26.9%)	588	511	△77
基礎利益	△62	174	+236	-	△18	323	+341
経常利益※1	△24	147	+171	-	63	263	+200
当期純利益	△37	88	+126	-	9	153	+144
資本性準備金繰入額	7	6	△1	(△18.3%)	+13	+14	+0
責任準備金補正	70	70	+0	(+0.2%)	+138	+147	+8
繰延新契約費	130	129	△1	(△0.8%)	+267	+298	+30
新契約費償却等	△118	△121	△2	-	△235	△249	△14
有価証券売却損益・評価損	3	28	+24	(+738.8%)	△15	+36	+51
修正利益	55	201	+146	(+265.7%)	178	400	+221

修正利益

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

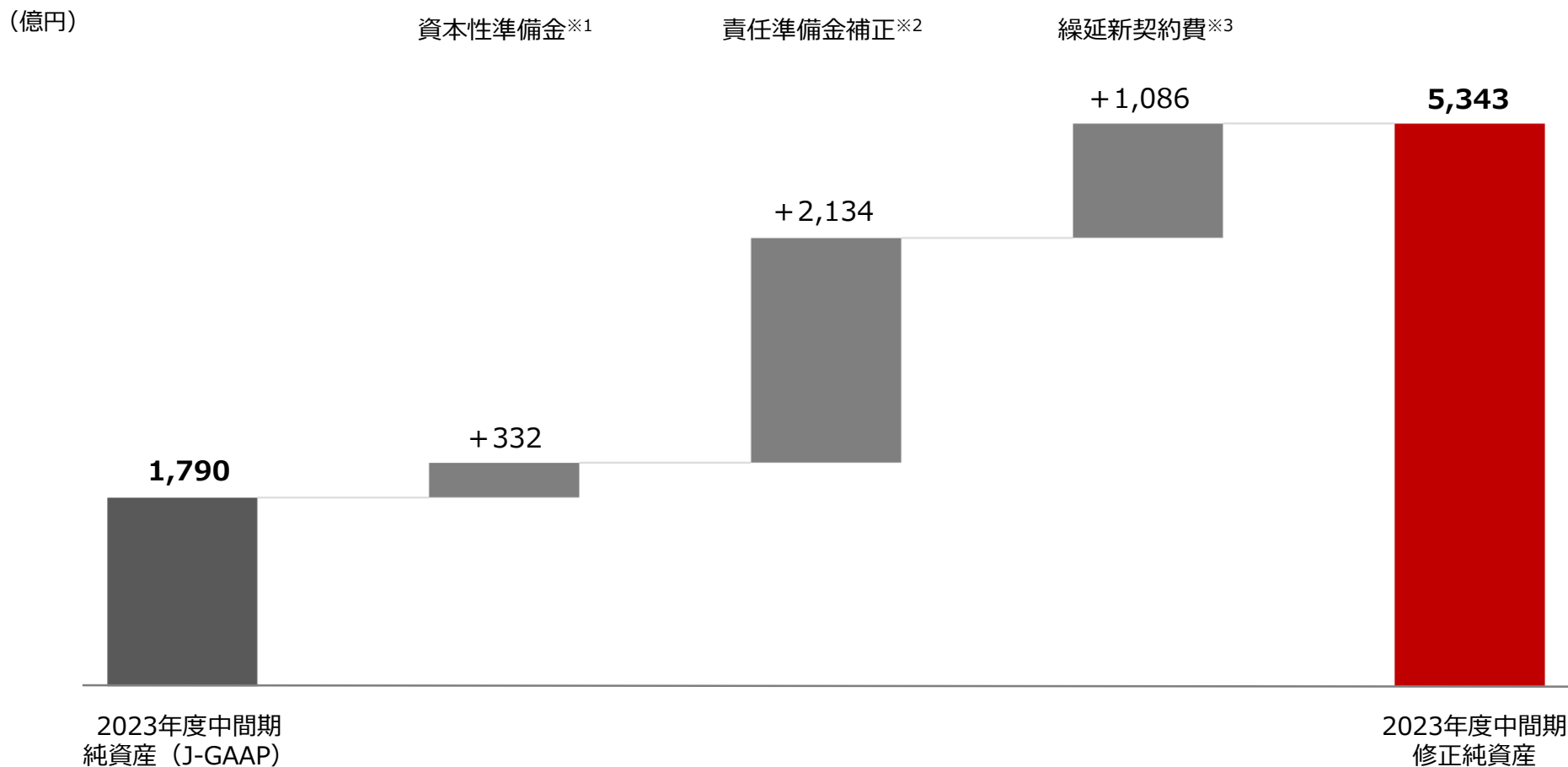


# (参考) 修正純資産のコンバージョン

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 修正純資産のコンバージョン



- ※1 危険準備金、価格変動準備金 (税後)
- ※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算 (税後)
- ※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却 (税後)

# 事業別詳細

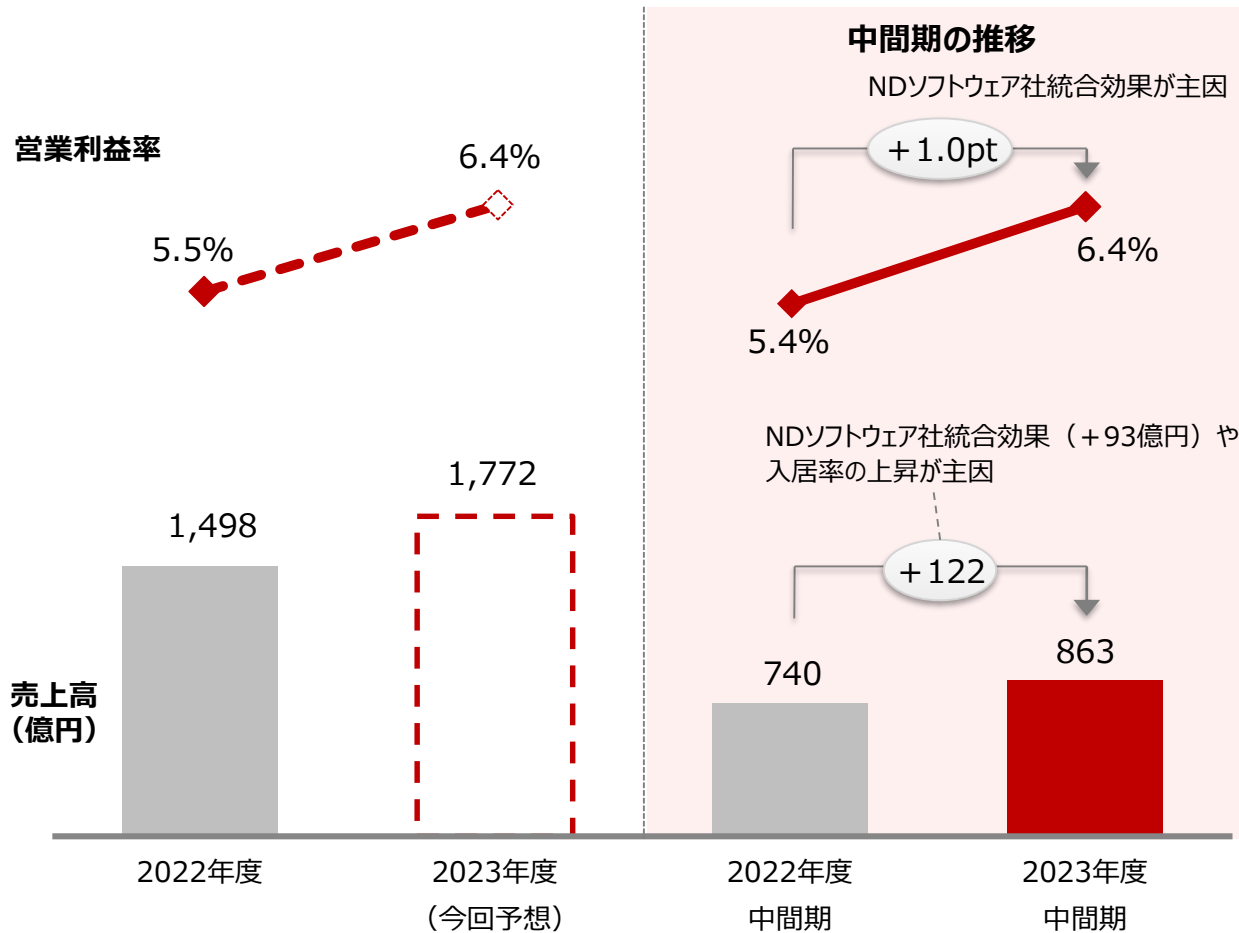
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	16
海外保険事業	28
国内生保事業	36
<b>介護・シニア事業</b>	<b>42</b>
ERM	45



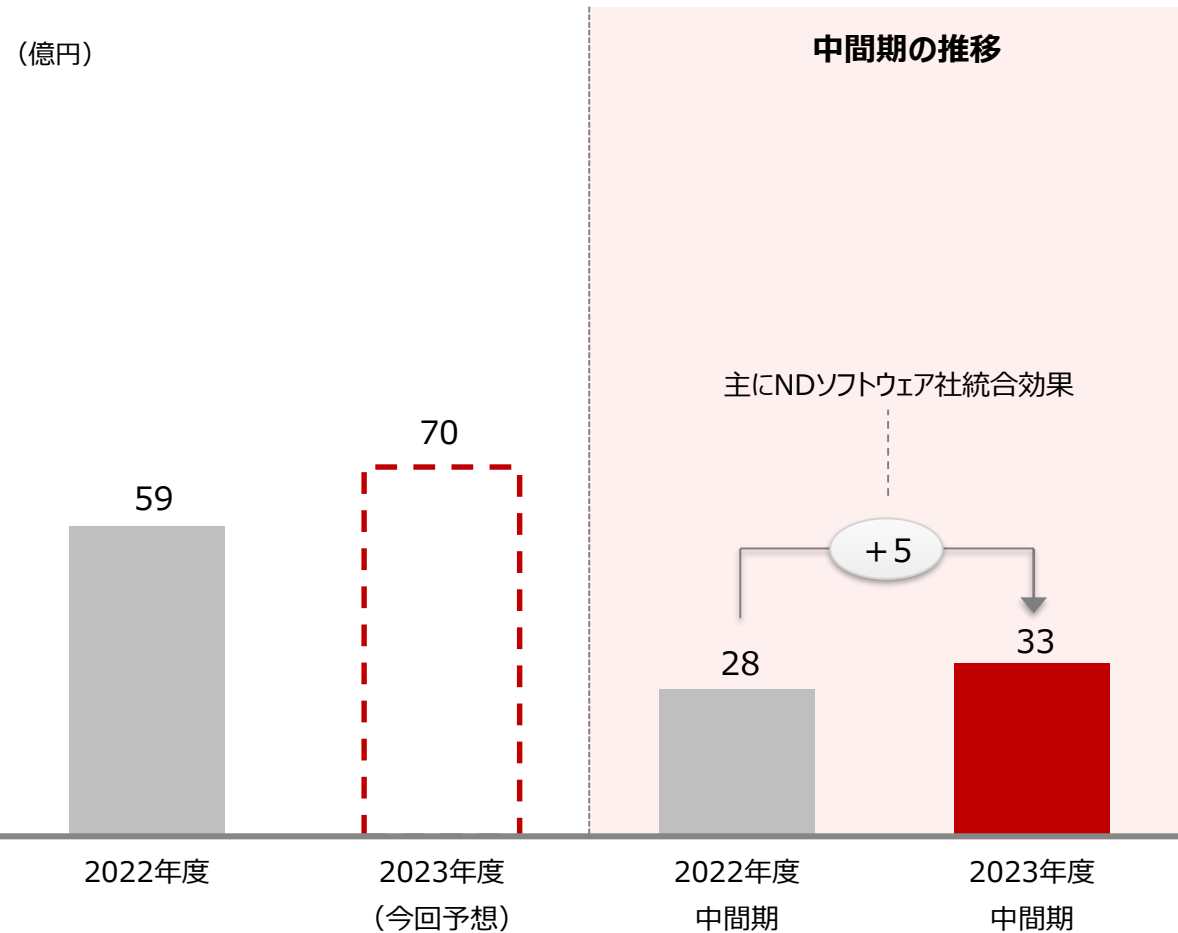
# 売上高・営業利益率・修正利益

- NDソフトウェア社の買収による統合効果に加え、入居率上昇により、2023年度中間期の売上高は+122億円の増収

## 介護・シニア事業の売上高・営業利益率の推移



## 介護・シニア事業の修正利益の推移

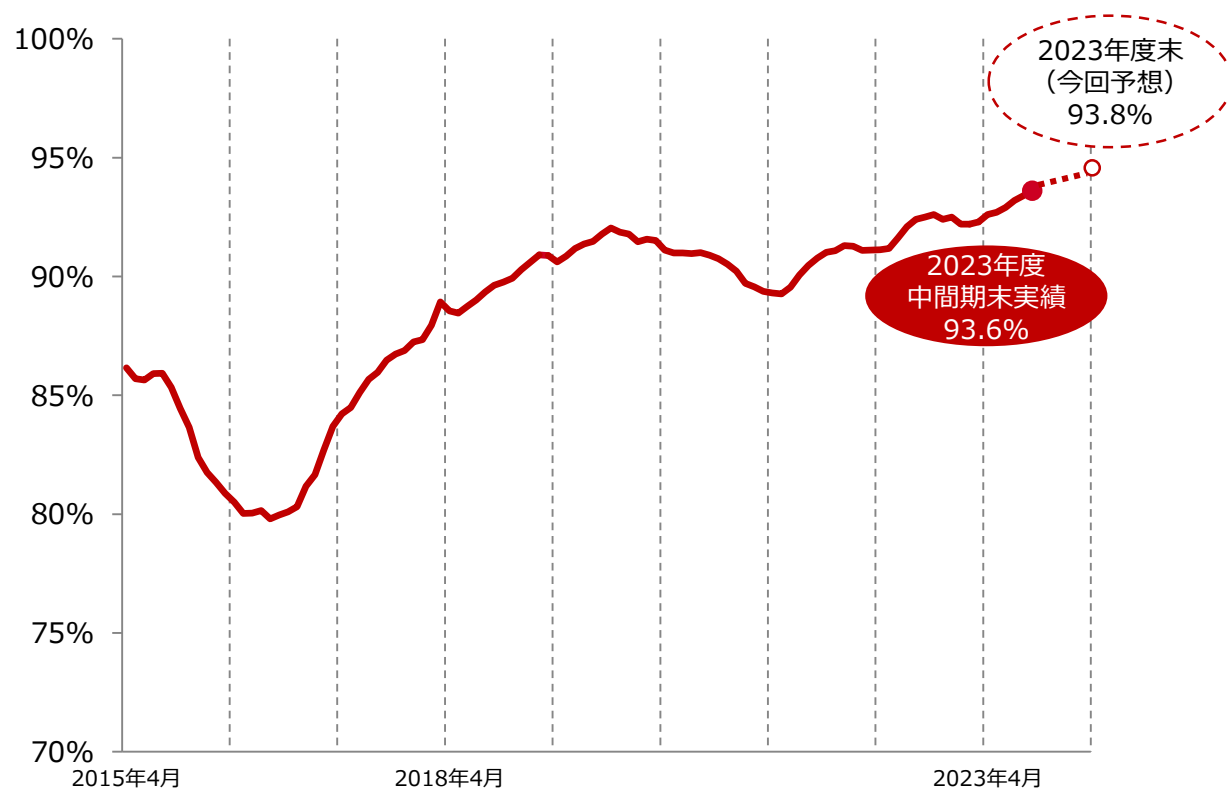


# (参考) 入居率・事業所数

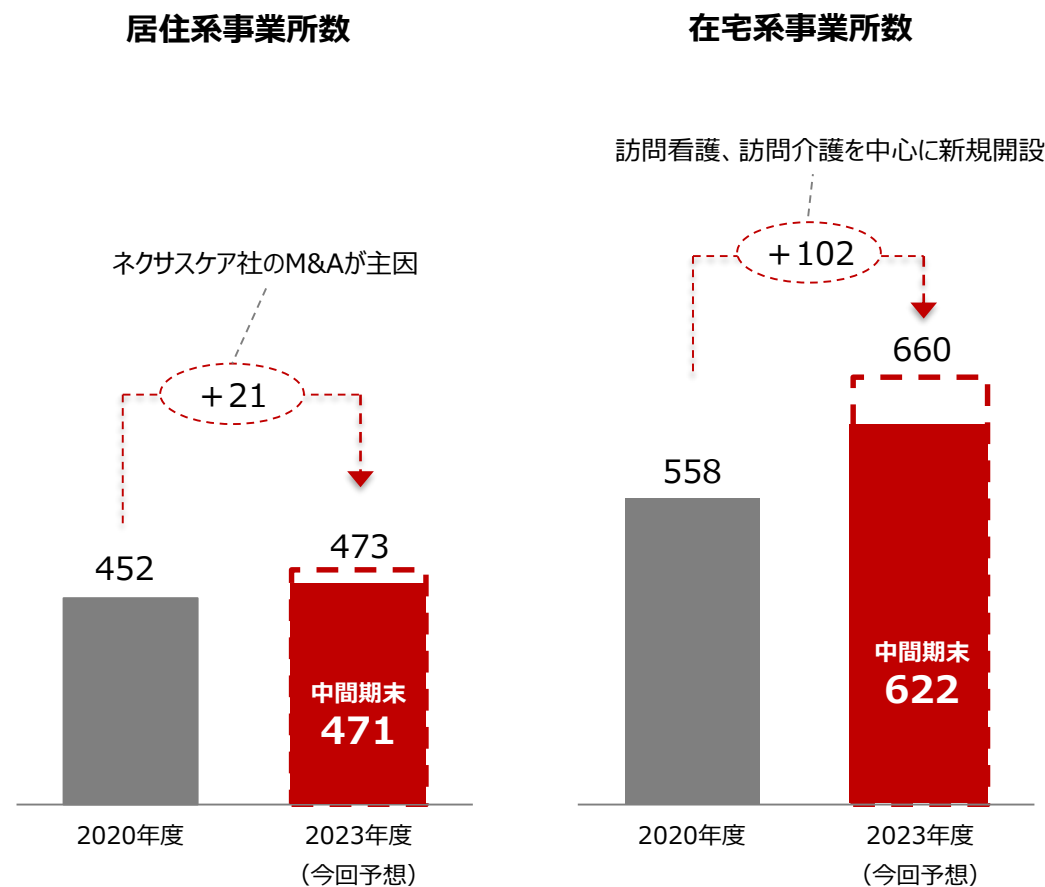
業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 入居率<sup>※1※2</sup>の推移 (SOMPOケア)



## 事業所数<sup>※3</sup>の推移 (SOMPOケア)



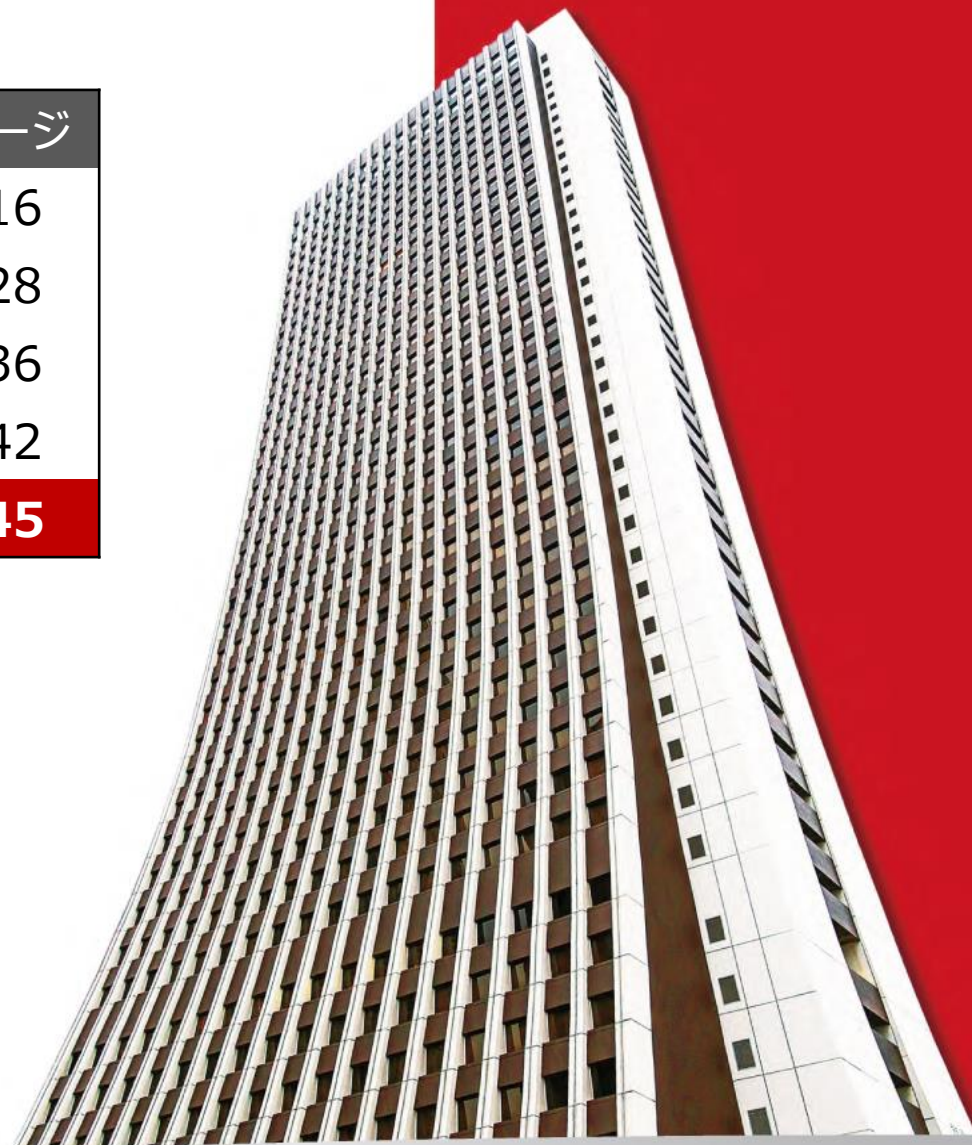
※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数

※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

※3 新規開設数およびM&Aから廃止した事業所数を除いた数

# 事業別詳細

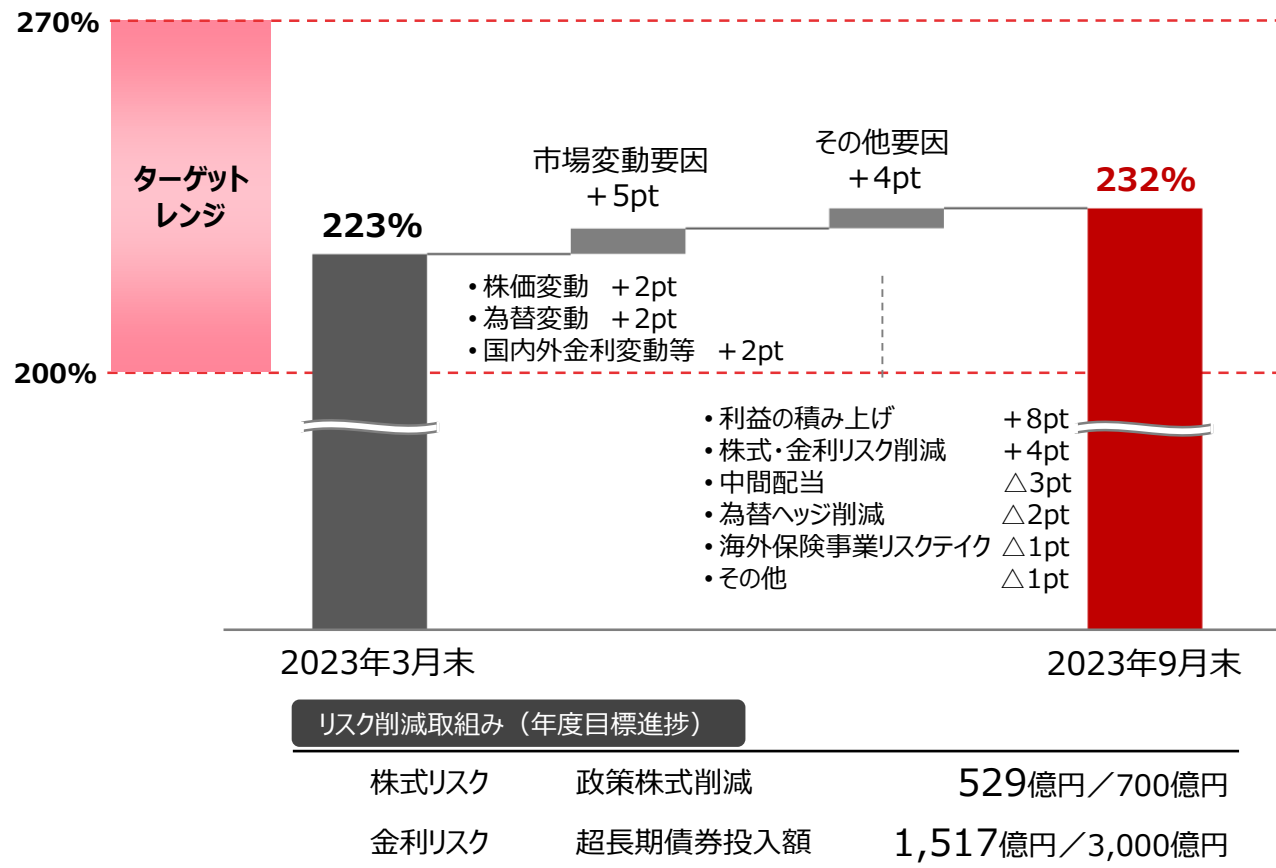
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	16
海外保険事業	28
国内生保事業	36
介護・シニア事業	42
<b>ERM</b>	<b>45</b>



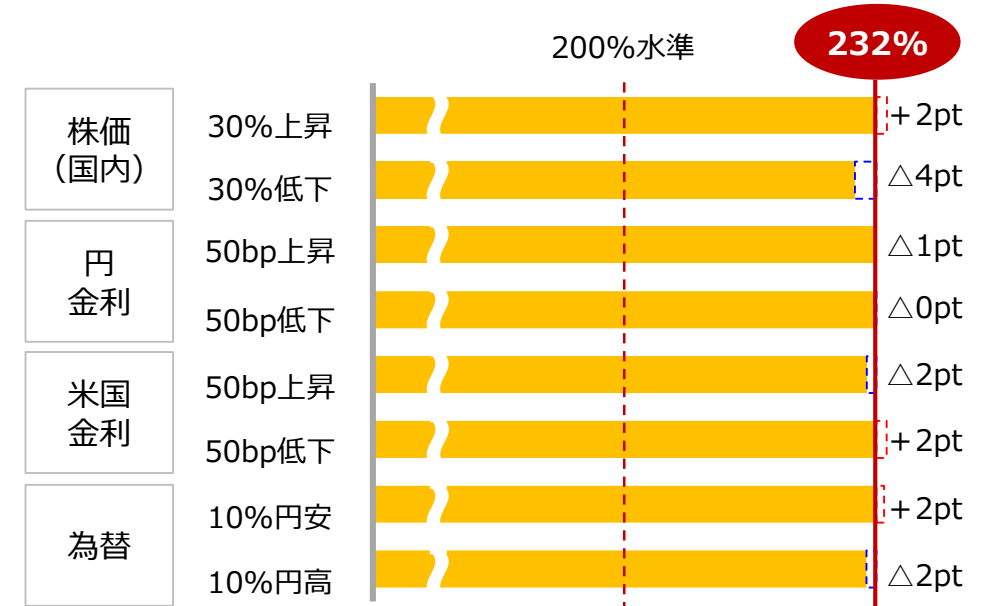
# ESR (99.5%VaR)

- 利益の積み上げ、株式リスク・金利リスクの削減等により、ESR水準は2023年3月末対比で9pt上昇の232%

## ESR (99.5%VaR) ※1の推移



## ESR (99.5%VaR) の感応度分析 (2023年9月末時点)



(参考) 市場環境	2023年9月末	(増減※3)
国内株価 (TOPIX)	2,323.39	(+16.0%)
国内金利 (30年国債利回り)	1.65%	(+35bp)
米国金利 (10年国債利回り) ※2	3.84%	(△4bp)
為替 (米ドル円レート)	149.58円	(+12.0%)

※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

※2 2023年6月末数値、増減は2022年12月末対比

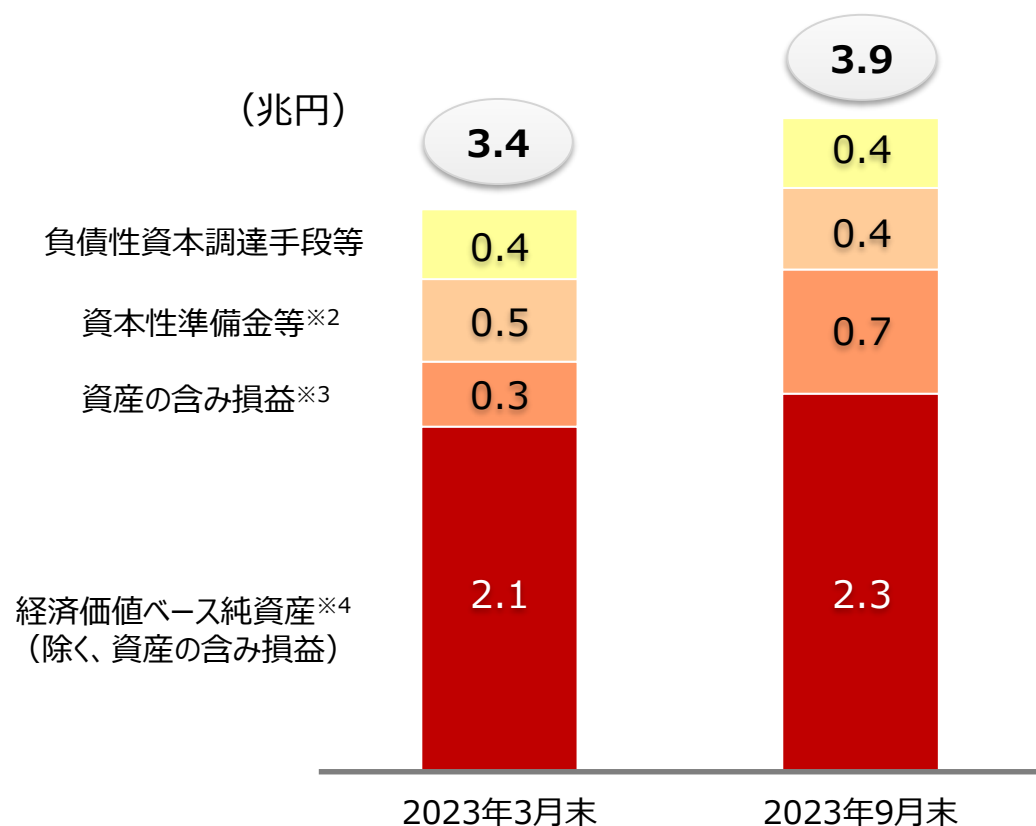
※3 2023年3月末対比

# (参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

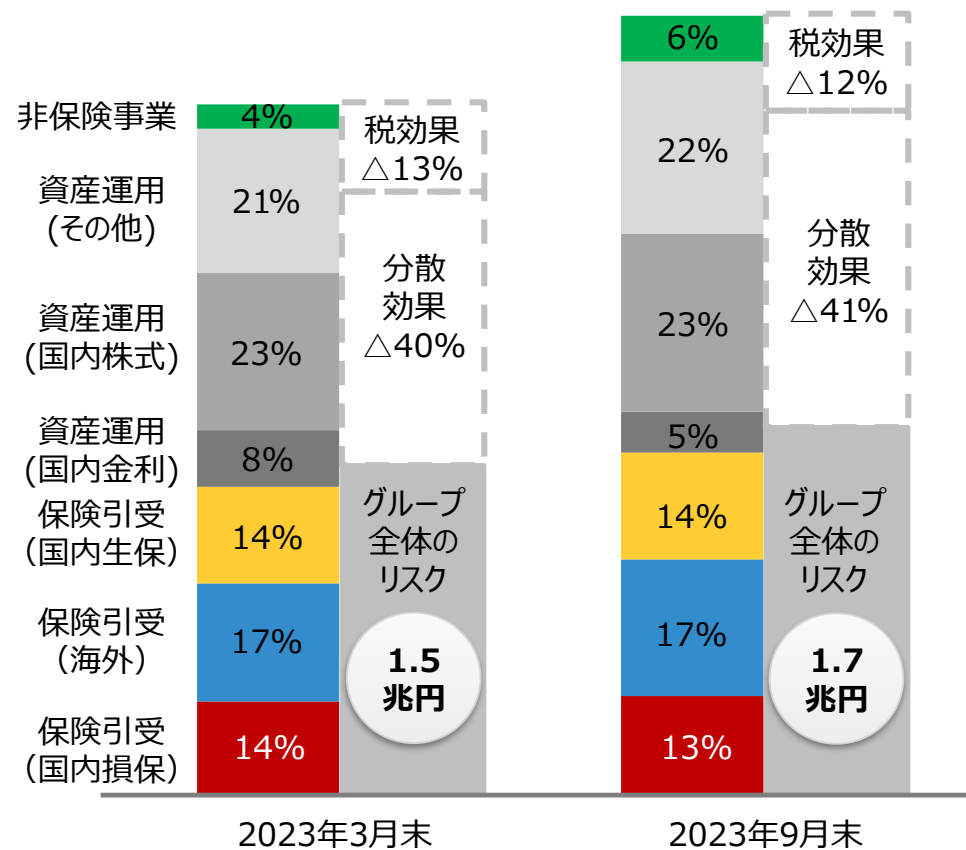


## 実質自己資本※1



- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金等 (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値等を加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

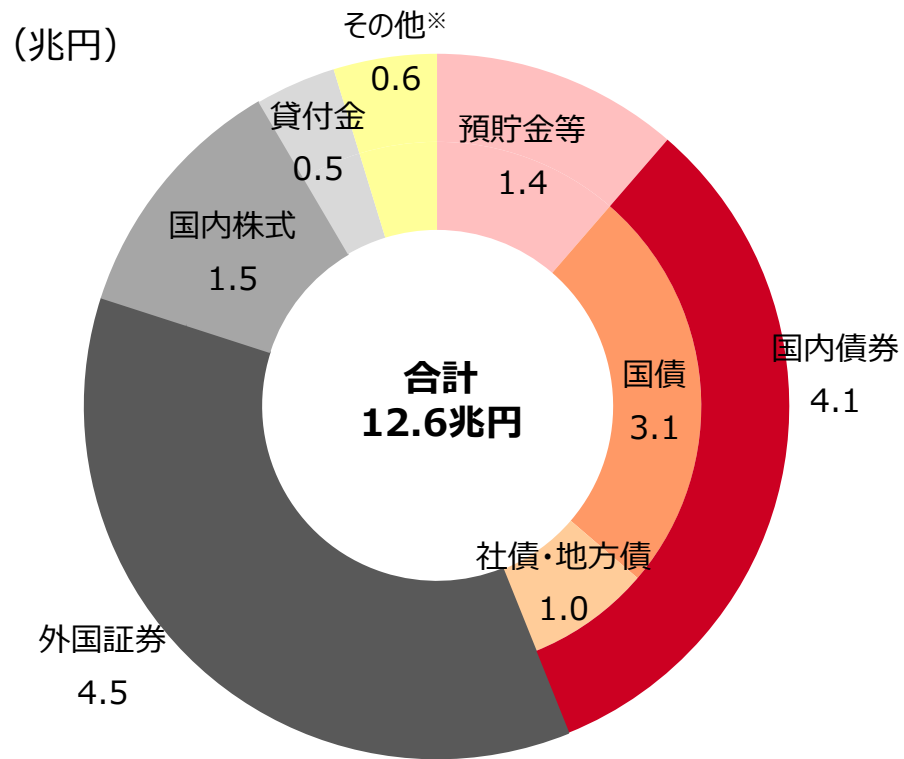
## リスク量※5



- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

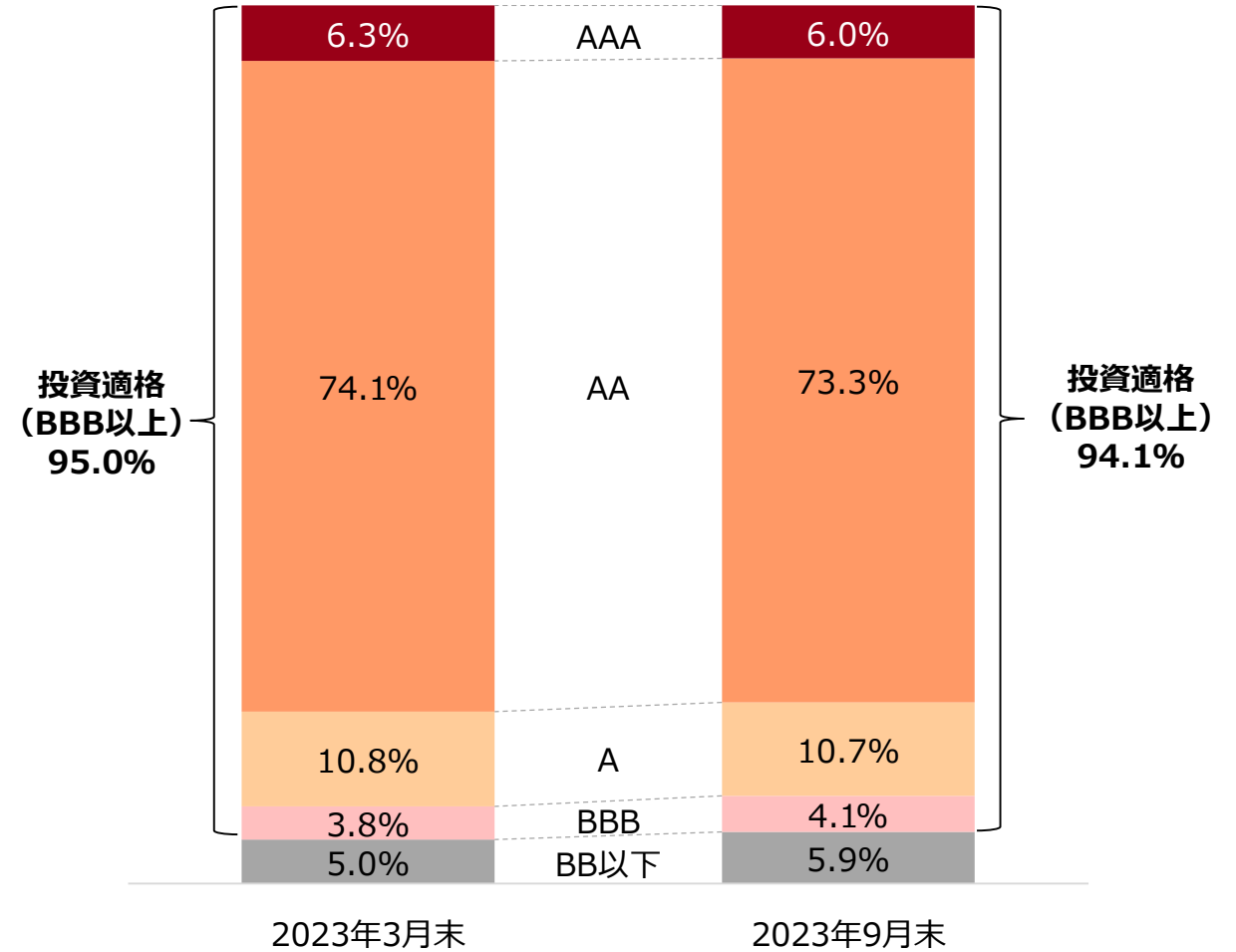
(参考) 資産運用ポートフォリオ (グループ連結ベース運用資産)

運用資産額 (2023年9月末、グループ連結ベース)



\* “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

グループ資産格付構成





# (参考) 経営数値等

業績概況		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 経営数値等

(単位：億円)	2023年度中間期		2023年度
	(実績)	(対前年増減)	(今回予想)
国内損保事業	256	+ 351	580
海外保険事業	818	+ 307	1,680
国内生保事業	201	+ 146	400
介護・シニア事業	33	+ 5	70
デジタル事業等	22	+ 11	30
<b>合計 (修正連結利益)</b>	<b>1,332</b>	<b>+ 823</b>	<b>2,800</b>
<b>修正連結ROE<sup>※3</sup></b>	-	-	<b>10%以上</b>
ROE (J-GAAPベース)	-	-	12.2%

## 修正連結利益<sup>※1</sup>の定義

国内損保事業	当期純利益 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)
海外保険事業	Operating Income <sup>※2</sup> なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益
国内生保事業	当期純利益 + 危険準備金繰入額 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 新契約費繰延 (税引後) - 新契約費償却 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)
介護・シニア事業	その他事業
デジタル事業	当期純利益 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失等)

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

## 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】



**SOMPOホールディングス株式会社**

#### **I R 室**

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>